

第4回 市民と議員の懇談会

報 告 書

奥州市議会市政調査会

目 次

	ページ
1 実施要領	1～2
2 開催状況	3～4
3 各班報告書	
第1班報告書	5
第2班報告書	6
第3班報告書	7
第4班報告書	8
第5班報告書	9
4 自由懇談「分野別意見、要望等」	
「議員定数、議員報酬」に係る意見、要望等	10～37
総務常任委員会所管に係る意見、要望等	38～43
教育厚生常任委員会所管に係る意見、要望等	44～46
産業経済常任委員会所管に係る意見、要望等	47～48
建設環境常任委員会所管に係る意見、要望等	49～52
議会に対する意見、要望等、その他	53～58
5 アンケート結果	
アンケート回収率	59
アンケート調査用紙	60
アンケート集計結果(集計表・グラフ・議会に対する意見等)	61～71
6 まとめ	72～73

平成 24 年度市民懇談会実施要領

1 趣旨

市民との多様な意見交換の場、議会が持つ情報の発信の場として、市民懇談会を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見・提言・批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 名称「市民と議員の懇談会」

3 実施主体

奥州市議会市政調査会

4 開催月日、会場

月 日	班	開 会 時 間 ・ 会 場	
7月30日 (月)	5班	14:00 胆沢愛宕地区センター	18:30 白山地区センター
	3班	14:00 広瀬地区センター	18:30 田原地区センター
	4班	14:00 伊手地区センター	18:30 梁川地区センター
7月31日 (火)	1班	14:00 南股地区センター	18:30 南都田地区センター
	2班	14:00 北股地区センター	18:30 若柳地区センター
	5班	14:00 羽田地区センター	18:30 水沢地区センター
8月1日 (水)	3班	14:00 衣川地区センター	18:30 生母地区センター
	4班	14:00 衣里地区センター	18:30 小山地区センター
	1班	14:00 姉体地区センター	18:30 真城地区センター
8月2日 (木)	2班	14:00 玉里地区センター	18:30 江刺愛宕地区センター
	5班	14:00 米里地区センター	18:30 稲瀬地区センター
	3班	14:00 藤里地区センター	18:30 常盤地区センター
8月3日 (金)	4班	14:00 古城地区センター	18:30 水沢南地区センター
	1班	14:00 黒石地区センター	18:30 江刺総合支所 多目的ホール
	2班	14:00 佐倉河地区センター	18:30 前沢地区センター

5 内容

(1) 報告事項

① 6月議会の報告

(2) 懇談内容

- ①「議員定数、議員報酬について」
- ②議会に対する意見要望、地域における諸課題等

6 班編成

(1) 6人～7人単位で5班編成とする。

1班 7人、2班 7人、3班 6人、4班 6人、5班 6人

(2) 班編成は、議会改革検討委員会、所属常任委員会、出身区等を考慮し編成することとし、会長、副会長に一任する。

(3) 各班に代表者（班長）をおき、準備及び当日の役割分担を行う。なお、質疑に対する答弁は全議員で行う。

- 役割分担
- ・班長 1名（挨拶）
 - ・司会進行 1名
 - ・説明係 2名（議会報告、議員定数・報酬）
 - ・記録係 2名（まとめ、記録は全員が行う）
 - ・受付係 (1名)

7 周知方法

(1) 広報、市議会だより及びホームページに掲載する。

(2) 地区センターを通じて、地区振興会等各種団体に呼びかけてもらう。

(3) 地元議員は参加の声をかける。

8 記録

市民懇談会の内容は、要点記録とし、録音する。

9 その他

(1) 懇談会終了後、各班ごとの質疑、要望事項等懇談内容を報告書にまとめ、会長に報告する。

(2) 市政調査会において、班ごとの報告、懇談会の成果・効果等について反省総括する。

(3) 質問・要望等で重要なものは、各常任委員会ごとに調査、市側との協議等に取り組むものとする。

(4) 懇談会の内容、対応・処理等の結果については市議会だよりに掲載する。

(5) 懇談会参加者を対象に、少しでも多くの市民の声を把握するため、アンケート調査を行う。

(6) この要領に定めるもののほか、市民懇談会の運営に必要な事項は会長が別に定める。

第4回 市民と議員の懇談会開催状況

(1) 開催日及び参加者数

月 日	会 場	参加者数		
		男	女	計
7月30日 (月)	胆沢愛宕地区センター	2	1	3
	白山地区センター	6	2	8
	広瀬地区センター	16	3	19
	田原地区センター	16	2	18
	伊手地区センター	12	2	14
	梁川地区センター	22	2	24
7月31日 (火)	南股地区センター	9	3	12
	南都田地区センター	10	0	10
	北股地区センター	12	2	14
	若柳地区センター	10	0	10
	羽田地区センター	8	0	8
	水沢地区センター	11	1	12
8月1日 (水)	衣川地区センター	6	3	9
	生母地区センター	3	1	4
	衣里地区センター	7	1	8
	小山地区センター	5	0	5
	姉体地区センター	12	2	14
	真城地区センター	15	3	18
8月2日 (木)	玉里地区センター	26	5	31
	江刺愛宕地区センター	13	4	17
	米里地区センター	18	2	20
	稲瀬地区センター	28	0	28
	藤里地区センター	21	8	29
8月3日 (金)	古城地区センター	33	5	38
	水沢南地区センター	12	1	13
	黒石地区センター	17	0	17
	江刺総合支所(岩谷堂)	12	1	13
	佐倉河地区センター	9	0	9
	前沢地区センター	7	0	7
	常盤地区センター	21	1	22
第4回(H24)30会場参加者数(合計)		399	55	454
第1回(H22.10月)10会場参加者数		116	18	134
第2回(H23.7月)10会場参加者数		167	18	185
第3回(H24.2月)10会場参加者数		188	18	206

(2) 班名簿

	1班	2班	3班	4班	5班
開催日	7月31日 南股、南都田地区センター	7月31日 北股、若柳地区センター	7月30日 広瀬、田原地区センター	7月30日 伊手、梁川地区センター	7月30日 胆沢愛宕、白山地区センター
会場	8月1日 姉体、真城地区センター	8月2日 玉里、江刺愛宕知育センター	8月1日 衣川、生母地区センター	8月1日 衣里、小山地地区センター	7月31日 羽田、水沢地区センター
	8月3日 黒石地区センター、江刺総合支所	8月3日 佐倉河、前沢地区センター	8月2日 藤里地区センター	8月3日 古城、水沢南地区センター	8月2日 米里、稲瀬地区センター
班長	小野 幸宣	小野寺 重	佐藤 克夫	及川 梅男	菊池 嘉穂
班員	関 笙子	阿部加代子	及川 善男	中西 秀俊	中澤 俊明
	千葉 悟郎	今野 裕文	高橋 政一	小野寺隆夫	三ノ宮 治
	佐藤 修孝	菅原 由和	飯坂 一也	佐藤 邦夫	藤田 慶則
	菊地 孝男	高橋 瑞男	佐藤 郁夫	千田美津子	遠藤 敏
	加藤 清	新田 久治	三宅 正克	内田 和良	千葉 正文
	菅原 明	菊池堅太郎			

第4回「市民と議員の懇談会」第1班報告書

1 開催月日	平成24年7月31日(火) 午後2時00分 から午後3時55分	平成24年8月1日(水) 午後2時00分 から午後4時15分	平成24年8月3日(金) 午後2時00分 から午後3時45分
	会場:南股地区センター	会場:姉体地区センター	会場:黒石地区センター
会場、参加者数	12名(内)男性 9名 女性 3名 議員・職員 5名	14名(内)男性 12名 女性 2名 議員・職員 1名	17名(内)男性 17名 女性 名 議員・職員 1名
	平成24年7月31日(火) 午後6時30分 から午後8時45分	平成24年8月1日(水) 午後6時30分 から午後8時20分	平成24年8月3日(金) 午後6時30分 から午後8時22分
	会場:南都田地区センター	会場:真城地区センター	会場:江刺総合支所
	10名(内)男性 10名 女性 名 議員・職員 1名	18名(内)男性 15名 女性 3名 議員・職員 2名	13名(内)男性 12名 女性 1名 議員・職員 1名
2 出席議員	班長 小野 幸宣.....議員 進行係 千葉 悟郎.....議員 説明係 菅原 明.....議員 加藤 清.....議員 記録係 佐藤 修孝.....議員.....議員 受付係 関 笙子.....議員 菊地 孝男.....議員		
3 欠席議員議員議員議員議員		

4 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

5 反省点、次回の課題等

- 後で回答する場合にわからないことがあるので、発言者にはフルネームを言っていただくことを徹底した方が良いと感じた。
- 前向きな議論の場となるよう今後工夫が必要と感じた。
- 議員が出向いて行って、市民と懇談の場を持つことは、今後も継続していった方が良いと感じた。
- 今回アンケートを取ったことは、発言しない方の意見も聴取できたので良かったと思う。

第4回「市民と議員の懇談会」第2班報告書

1 開催月日	平成24年7月31日(火) 午後2時00分 から午後4時00分	平成24年8月2日(木) 午後2時00分 から午後4時00分	平成24年8月3日(金) 午後2時00分 から午後4時00分
	会場:北股地区センター	会場:玉里地区センター	会場:佐倉河地区センター
会場、参加者数	14名(内)男性 12名 女性 2名 議員・職員 4名	31名(内)男性 26名 女性 5名 議員・職員 名	9名(内)男性 9名 女性 名 議員・職員 1名
者数	平成24年7月31日(火) 午後6時30分 から午後8時30分	平成24年8月2日(木) 午後6時30分 から午後8時35分	平成24年8月3日(金) 午後6時30分 から午後8時30分
	会場:若柳地区センター	会場:江刺愛宕地区センター	会場:前沢地区センター
	10名(内)男性 10名 女性 名 議員・職員 4名	17名(内)男性 13名 女性 4名 議員・職員 2名	7名(内)男性 7名 女性 名 議員・職員 名
2 出席議員	班長小野寺 重..... 議員 進行係新田 久治..... 議員 説明係阿部加代子..... 議員今野 裕文..... 議員 記録係菅原 由和..... 議員菊池堅太郎..... 議員 受付係高橋 瑞男..... 議員 議員		
3 欠席議員阿部加代子..... 議員 (玉里地区センター、佐倉河地区センター)高橋 瑞男..... 議員 (前沢地区センター)		

4 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

5 反省点、次回の課題等

- ・ 総じて参加者が少なかった。議員による周知の工夫が必要だ。また、地区センターによっても周知方法には差があるのではないかな。
- ・ 議員は班編成の組み替えがあり、毎回同じ地区センターに行くとは限らない。担当地区の前回の懇談内容をあらかじめ把握して臨んだほうがよいと思う。
- ・ 開催頻度は、任期内において1地区1開催でよいのではないかな。
- ・ 短期間に集中的に意見集約をすることが出来てよかった。前回までのものも含めて、今後この意見を議会としてどうしていくのかの検討も必要ではないかな。
- ・ 懇談会の参加者に対して、飲み物の配慮があってもよいのではないかなとの意見が出された。開催時期にもよると思うが、特に今回のように暑い中での開催については検討が必要だと思う。

第4回「市民と議員の懇談会」第3班報告書

1 開催月日	平成 24 年 7 月 30 日 (月) 午後 2 時 00 分 から午後 4 時 00 分	平成 24 年 7 月 30 日 (月) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 00 分	平成 24 年 8 月 1 日 (水) 午後 2 時 00 分 から午後 4 時 00 分
	会場: 広瀬地区センター	会場: 田原地区センター	会場: 衣川地区センター
会場、参加者数	19 名(内)男性 16 名 女性 3 名 議員・職員 1 名	18 名(内)男性 16 名 女性 2 名 議員・職員 1 名	9 名(内)男性 6 名 女性 3 名 議員・職員 5 名
者数	平成 24 年 8 月 1 日 (水) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 30 分	平成 24 年 8 月 2 日 (木) 午後 2 時 00 分 から午後 4 時 00 分	平成 24 年 8 月 3 日 (金) 午後 2 時 00 分 から午後 8 時 00 分
	会場: 生母地区センター	会場: 藤里地区センター	会場: 常盤地区センター
	4 名(内)男性 3 名 女性 1 名 議員・職員 名	29 名(内)男性 21 名 女性 8 名 議員・職員 2 名	22 名(内)男性 21 名 女性 1 名 議員・職員 名
2 出席議員	班長 佐藤 克夫 議員 進行係 三宅 正克 議員 説明係 佐藤 郁夫 議員 飯坂 一也 議員 記録係 及川 善男 議員 高橋 政一 議員 受付係 及川 善男 議員 高橋 政一 議員		
3 欠席議員 及川 善男 議員 (藤里地区センター) 佐藤 郁夫 議員 (田原地区センター、衣川地区センター、常盤地区センター)		

4 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

5 反省点、次回の課題等

- ・ それぞれの地区に議員が足を運び市民の生の声を聞くことはとてもいいことであり、今後も継続していくべきだ。
- ・ 全体的に参加者が少なかった。周知方法の工夫と開催時期の検討 (休日開催等) が必要ではないか。
- ・ アンケートをとったのは良かったと思う。
- ・ 議員に対する貴重な意見も多くいただいたので、議員それぞれがその意見を謙虚に受け止め、これからの活動に活かしていかなければならないと感じた。

第4回「市民と議員の懇談会」第4班報告書

1 開催月日	平成 24 年 7 月 30 日 (月) 午後 2 時 00 分 から午後 3 時 45 分	平成 24 年 8 月 1 日 (水) 午後 2 時 00 分 から午後 3 時 35 分	平成 24 年 8 月 3 日 (金) 午後 2 時 00 分 から午後 4 時 20 分
	会場:伊手地区センター	会場:衣里地区センター	会場:古城地区センター
会場、参加者数	14 名(内)男性 12 名 女性 2 名 議員・職員 1 名	8 名(内)男性 7 名 女性 1 名 議員・職員 4 名	38 名(内)男性 33 名 女性 5 名 議員・職員 1 名
	平成 24 年 7 月 30 日 (月) 午後 6 時 30 分 から午後 7 時 55 分	平成 24 年 8 月 1 日 (水) 午後 6 時 30 分 から午後 7 時 50 分	平成 24 年 8 月 3 日 (金) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 30 分
	会場:梁川地区センター	会場:小山地区センター	会場:水沢南地区センター
	24 名(内)男性 22 名 女性 2 名 議員・職員 2 名	5 名(内)男性 5 名 女性 名 議員・職員 2 名	13 名(内)男性 12 名 女性 1 名 議員・職員 2 名
2 出席議員	班長 及川 梅男 議員 進行係 千田 美津子 議員 説明係 内田 和良 議員 議員 記録係 佐藤 邦夫 議員 中西 秀俊 議員 受付係 小野寺 隆夫 議員 中西 秀俊 議員		
3 欠席議員 及川 梅男 議員 (衣里地区センター)		

4 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

5 反省点、次回の課題等

- ・ 議員に話しても実現化しないという意見を重く受け止め、活動する必要がある。
- ・ 少人数の参加者でも中味はあった。
- ・ 懇談会の実施は、市民から非常に好意的に受け止められていると感じた。年に一回は全地区センターで開催すべきである。
- ・ 議会の存在意義が市民にきちんと理解されていない、頼りにされていないと感じる場面が多々あった。
- ・ 参加者数が地域によってかなりの差がある。これは地区センターや議員の地域住民への働きかけの仕方によるものと考えられる。今後の周知方法については、議員間で意見交換した方が良い。
- ・ 女性や若い人たちの参加を促す方法も検討すべきである。

第4回「市民と議員の懇談会」第5班報告書

1 開催月日	平成 24 年 7 月 30 日 (月) 午後 2 時 00 分 から午後 4 時 00 分	平成 24 年 7 月 31 日 (火) 午後 2 時 00 分 から午後 4 時 00 分	平成 24 年 8 月 2 日 (木) 午後 2 時 00 分 から午後 4 時 00 分
	胆沢愛宕地区センター	羽田地区センター	米里地区センター
会場、参加者数	3 名(内)男性 2 名 女性 1 名 議員・職員 名	8 名(内)男性 8 名 女性 名 議員・職員 名	20 名(内)男性 18 名 女性 2 名 議員・職員 名
者数	平成 24 年 7 月 30 日 (月) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 30 分	平成 24 年 7 月 31 日 (火) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 30 分	平成 24 年 8 月 2 日 (木) 午後 6 時 30 分 から午後 8 時 30 分
	白山地区センター	水沢地区センター	稲瀬地区センター
	8 名(内)男性 6 名 女性 2 名 議員・職員 名	12 名(内)男性 11 名 女性 1 名 議員・職員 名	28 名(内)男性 28 名 女性 名 議員・職員 名
2 出席議員	班長 菊池 嘉穂 議員 進行係 藤田 慶則 議員 三宮 治 議員 説明係 遠藤 敏 議員 千葉 正文 議員 記録係 三宮 治 議員 藤田 慶則 議員 受付係 三宮 治 議員 藤田 慶則 議員		
3 欠席議員 中澤 俊明 議員 議員 議員 議員		

4 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

5 反省点、次回の課題等

(愛宕) 参加者は3名であった、愛宕地区の皆さんには集める努力をして欲しい。

(白山) 議員定数については、総じて現状維持の意見が多かった。

5 班全体として、今回の懇談会を振り返ってみると、参加者が少ない地域もあったが、少ない地域においては少ないなりに、十分に時間を使い話し合いが出来たと感じている。参加者をどのように増やすかが今後の課題である。

定数、報酬については、いろいろな意見が出されたが、現状維持が多かったのではないかと5 班の議員は感じている。

「議員定数・議員報酬」に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	南股地区センター	<p>資料に賞与分は入っているのか。衣川村で自分は議員であったが、給与は19万円で賞与は全額返納した。会社経営と異なるのだから、議員に賞与は不必要だ。</p> <p>議員定数は減らす必要なし。給与を減らす時は賞与から減らすべき。生活給としてなら月給はこのまま。</p> <p>決めるときに類似団体に習うのは本来のやり方ではない。何人が必要で手当てがいくら必要かから議論を始めるべきだ。</p>	<p>資料に賞与分は入っていない。6月の賞与は手取り36万円程度。しかし、交際費や選挙など経費がかなり要るのが実態。</p> <p>また、寄付行為の禁止については広報に記載してある。</p>	
		<p>議員定数は削減すべき。報酬は40代の若者が子育てするには厳しいかも。立候補できる状況にするよう月給を増額すべきでないか。</p>		
		<p>報酬額を決めるのに類似団体を参考にするのは如何なものか。大阪府大東市は人口12万人で17人である。ただ、地域の事情があるので判断しかねる。感覚的には30人前後か。</p>		
		<p>封筒（ご祝儀）をいっぱい欲しい。何故なら保育所の光熱費の削減が厳しいから。（冷房、プールの水）</p>		要調査
		<p>議員は地域代表という考え方がある。地域代表の感覚で定数を決め付けていないか。人数の少ない衣川の意味が行政に反映されないのではという不安がある。働く議員を期待したい。</p>		
		<p>市の状況を考えて報酬を考えるべき。報酬も定数も削減すべきだ。議員はもっと地域を歩いて住民の声を吸い上げて欲しい。自分の出身区だけではなく、全体、まして小さいところを見捨てない方法で公平にやってほしい。今の方法のままでは今後衣川から議員がいなくなることも考えられる。地域の声を吸い上げる仕組みが必要。</p>	<p>選挙制度にかかわる。今後考えていくべき。</p> <p>地域の声を吸い上げるには、地区センターを強化することが必要では。</p> <p>議員は地区の代表ではない。全体で市の行く末を考えるべき。議員は15～20人で充分と思う。</p> <p>市内の給与水準は200万円が普通で300万円は上だ。地域にあった報酬であるべき。120億円の人件費、職員も下げている中、正常な財政運営になるまでは皆で我慢が必要だ。報酬以外の賞与は不必要と私も感じた。</p> <p>人口13,000人の常盤地区にも1つの地区センター、南股にも1つの地区センターを配置し、次長クラスの職員を配置している。</p>	

1	南股地区センター	<p>地域の実態がそれぞれである。衣川は水沢、江刺とは異なり、青年会、婦人会がない。下地となる組織がない中で地区センターとなり、他とは違う。他地区とおなじレベルになるまで職員はきちんと配置して欲しい。</p> <p>市と市民の関係なら、地区センターがあれば議員はいらぬ話になる。</p>	<p>地区センターがあれば議員がいらぬとならぬよう、議員は地区センターと関係を蜜にすべき。地区センターと議員の関わりを見直す必要がある。</p>	
	南都田地区センター	<p>報酬を決定するのに大事なことが抜けている。資料に財政状況についての記載が全くない。市の財政状況をみれば、現状維持も増額もない。要削減だ。国保税増、サービス元の中、議員の報酬は上げるのか。選挙費用のうちポスターは不必要。議員よりも地区センター長や行政区長等がよく把握している。30に削減すべきである。報酬は削減すべきである。</p>	<p>3割自治。市税が120億円程度で収入の3割。</p> <p>シンクタンクの提言にあったように、議員は15~20人と私は思う。賞与も不要。300万円が充分。</p> <p>現在働く人は6万人で、年金生活者は4万人、1.5人で1人を支えているが、今後数年間毎年2000人ずつ増えて1人で1人を支えることになる。国保と介護は市の財政でやっつけていかなければならない制度。年900人出生の人口構造では厳しい。</p> <p>議員を魅力あるものにする必要も一方である。自分たちが選んだ議員とすれば、皆で育てる必要もあるのでは。福島の矢祭村では日当制にしたら議員資質が落ちてしまったという例がある。</p>	
		<p>議員定数は地区センター毎とか区割りをして削減すべき。報酬は市の職員では45、6歳程度の給与と同じくらいではないかと思うが、年間4ヶ月の議会に出席するにしてもかなり高いのでは。また、費用弁償等はあるのか。</p>	<p>費用弁償はある。交通費として37円/k m。報酬は市の係長クラス。</p>	
	姉体地区センター	<p>大阪府大東市は人口13万人、15人の議員数だ。会津よりこちらを見習うべきだ。議員数は減らすべき。</p> <p>議員の仕事は住民の声を吸い上げるだけでなく、住民に説明して歩くこともある。優秀な人材は私達が選挙で選ぶ。</p>	<p>あなたが「ちばごろう」を名乗った方ですか、本当の名前は何かですか。</p>	
		<p>議員定数は30、報酬は現状でよい。議員で商売をやっている人もいる。</p>	<p>報酬は321,000円だが手取りで25万円前後です。私は年金があるからやっつけていけるが、若い人が議員に当選して、結婚して子どもを育てていけるか、その辺も含めて。</p>	
		<p>議員定数を減らすと市民に接する機会が減ると思うがどう活動するのか。</p>	<p>議員は15~20人でよいと私は思う。地区の要望は振興会に任せ、議員は市全体の事をすべきだ。</p> <p>1,000kmを公平に対応していくには30人程度は必要。地区センターの方法にも問題があり、南股の人口は500人、南地区は12,000人とばらつきがある。望ましいあり方の模索が必要である。</p>	

1	姉体地区センター	夫は29歳から議員をしている。合併後は特に忙しい。黒石、羽田から議員がなくなった為、災害時は特に忙しい。面積と人口も考えるべき。議員定数も報酬も現状維持。		
		議員定数は維持。減らすと市政に反映できない。経済情勢を考えて、報酬は減額。		
		定数削減の意味は。現状がどうなのか市民には伝わってこない。議員として立候補したときの決意を持ってがんばって欲しい。 会派の違いはなにか。共産、公明はわかるが、それ以外の会派はどういう考えか市民に伝わってこない。	昨年、法律が改正され、議員定数の上限がなくなり、議論がはじまった。奥州市は800ある市のうち財政状況は750番くらいなので、報酬の削減は必要と思う。定数は大幅に減らすべきではないが、減らす方向は必要と思う。 面積の差があるので、人口規模だけで定数を決められないと思う。市の人口規模を議員定数の目安とするのであれば、年間1,000人の人口減少を勘案する必要がある。平成30年には市の人口が118,000人になり、資料6頁にある議員一人当たり人口の平均で議員定数を割り出すと、27になる。27人なりの議員活動があると思う。報酬は特別職の報酬審議会がある。 会派については人間関係、地域関係、思想的なものに関わり集団。	
	真城地区センター	いろんな意見を吸い上げる議会であって欲しい。市民要望が多岐に亘る。少数意見を吸い上げるには一定の数が必要。これ以上削減する必要があるのか。ただ議員の数は多い方が良いが、議論だけで進まないのはどうか。	合併当初は100人以上でその後34になり、昨年の法改正により、人口規模からの上限がなくなった。	
	シンクタンクの提言にある20人の意味が解らない。	財政が厳しいことがあったようだ。財政改革をし再建団体にならないようにする。		
	財政状況で議員定数を決めるのはおかしい。本来の民主主義ではない。減らさないほうが少数意見が聞こえる。地域実態を知っている議員がいれば意見が反映される。議員定数を減らすことは反対。			
	財政を考えないでいけるわけがない。1千億を越す借金からスタートすべきだ。第三者委員会を作るなりして議員定数、報酬を決めるべきだ。日本一進んでいる自治体を探し、研鑽すべきだ。5～10年先を見据える必要がある。家庭は火の車。職員も減給。常任委員会も2つも3つも所属すればいい。議会に制約があるのかかわからないが民間ではたくさん所属している。	市職員も給与削減、議会も痛みわけをする。		

1	真城地区センター	定数削減により住民意思が届かなくなるのでは。選挙で候補者は意見を述べ、それを聞いて投票しているので考えはわかっている。議員は議会の権上で意見を述べるべき。地域を限るべきではない。報酬は基本的に職員とは別で、専門の人の意見を聞いてやるべき。	基本的に議員の仕事は何かという部分がある。	
		報酬は生活給ではないだろう、ヨーロッパ等では無報酬で名誉職でプライドを持っていると聞いた。400万円なら400万円に決めてもやっていけるのでは。	税金を引かれると25万円になる。交際費もある。私は年金があるのでやっていけるが、若い人は無理では。	
		シンクタンクの提言は市民の声。議会で市民の声が反映されていないと感じる。たくさん議員が必要というのは地域誘導、利益誘導だと思う。報酬を低くしても辞める方はいないと思う。		
		市民に議会に対する理解を深めてもらうことが足りない。何をやっているのかわからない。市をチェックする機能に偏っている。議員からの提案はあるのか。市民が選択し易いように市と議会の意見を並べて欲しい。	これまでの首長は行政出身の方々だった。経営意識がもっとあれば今と違ったものになったのではないか。議員が15人のところもあるようだが面積は小さい。職員も市民200人に一人の割合のところもあり12万人で職員は600人の計算になる。	
		財政が第一に来て、そこから定数を割り出すべきだ。議員も決断するべき。事業の優先順位を考えるべき。判断が遅い。		
江刺総合支所(岩谷堂)	シンクタンク提言している定数20について議員はどう考えるか。	財政改革の一環。香川県の四国中央市が人口が同じくらいで、議員が20人のためモデルにしたようだが、面積も考慮の必要があると思う。		
	今の人数が適当と思う。面積に応じてよい。定数削減は水沢に有効な事業をするためでは。周辺の市民の事を考えて欲しい。議員は金額に見合う活動をしてほしい。議会で声を出さない人は1期以降はやらないでほしい。	合併後1期目は41人、2期目は法律での上限の34人だが、昨年法律の改正があり、上限がなくなった。各自治体で議員の数を減らしているの、今年中に方向性を定めたい。定数削減と決めている訳ではない。意見を聞くために来ている。		
	シンクタンクのメンバー構成は誰が決めたのか。報酬は減らす必要なし。定数は時間をかけて検討すべき。	市長の決定。		
	発言少ない議員の生活給にする必要なし。			
	北上市はマイナス4で26人になった。減らすべき。			

1	江刺総合支所(岩谷堂)	70歳前後の議員が多い。市の基本計画の議論など、70の人が20年後を論じられるのか。少なくとも40代、50代にさせるべきでは。審議会なども。若い人を議会に送りたいと思ったが、議会は合併後は長期間、1日においても長時間で、年金を貰っている人や生活に余裕のある人しかねない。かなりの人にあたったが、今の報酬では生活できないと言われた。8人削減し、4人分は行革としても4人分の報酬は上乘せするなどし、環境を整えるべき。	削減の方向かと思うが、大幅な削減は厳しいと思われる。農村部は減らすなという声強い。今後の進め方については、議会改革検討委員会で協議検討する。	
		若い人は報酬が高くないとのことだが、盛岡の議員報酬は高いが、30代や40代の議員はいるのか。ボーナスもあるのか。	ボーナスはある。	
		現状でよい。		
	黒石地区センター	なぜ今の時期に議員の定数、報酬について市民の意見を聞くのか。 今まで議会で決めてきたのでは。何で懇談会をするのか。 議員の定数、報酬は当分現状でいい。ただ、議会の傍聴に行っているが、寝ている議員がいる。そういう議員はいらない。自覚して欲しい。	これまで法律で10~20万都市の議員の法定上限数は34人だったが、23年に法律が改正され上限がなくなったことにより、今どこでも検討している。奥州市でも22年に議会改革検討委員会を設置し、検討してきた。いろいろな意見があり、決定前に市民の声を聞く必要があるということで開催している。 お叱りを受ける点もあろうと思う。選挙で選ばれた人だが。	
		黒石に議員がいらない、誰か担当になって欲しい。定数は現状でよい。	全員が奥州市全体の議員。	
		報酬は生活給ではなく削減すべき。生活が成り立たないのは民間も同じ。定数は30人くらい。昼寝ばかりはやめてほしい。		
		地域代表という観点で捉えれば大選挙区制を変えられないか。地方自治法で禁止されているのか。 人口の少ないところは当選が難しくなり不安。工夫できないか。	法的にはそうなっている。 合併特例で最初の選挙だけだった。 地区センターから1人というのも案としてはおもしろいがむずかしい。	
	小選挙区制は取れないのか。区ごとに分ければ黒石から出る人もいるかもしれない。県内に小選挙区制のところはないのか。	県内どこにもない。 江刺区伊手のように少ない有権者なのに得票が多いという現状もある。当選できる人を育てることが大事。 江刺は合併前から10地区の内、議員のいない地区があった。今回さらに2地区が欠けて3地区になった。すべて地区要望は地区センターを通して。地区振興会が強化、尊重され、決定権を持ちコミュニティ計画によって進んでいる。		

2	北股地区センター	議員定数の削減については、大方の議員が今の情勢からすれば仕方がないという考えのようだが、削減の方向に向かっているのか。実際のところどうなのか。	削減すべきではないという議員もいる。また、合併したばかりなので、大きく削減すべきではなく徐々にという意見も多かった。 まだ個々の議員の意見をまとめたわけではない。 (他4名の議員から個人的意見を述べる)	
		議員定数・報酬はいつまでに結論を出すのか。	年内に結論を出す方向で進めている。	
		今日の懇談会では定数・報酬に関する意見がでなかったが、「今後見えますよ」という無言の言葉だったと思う。今後、市民への公開等の気配りをしながら議員の英断をもって良い方向に進めて欲しい。	意見として伺う。	
若柳地区センター	今回議員定数の見直しをする目的は何か。やはり経費削減が一番の目的なのか。	議会の活動を活性化させていくために何が必要なのかというのが検討のスタート。人口減少や地方分権が進む中で、今の定数でいいのか、今の活動のあり方でいいのか、より良い活動をしていくために定数や報酬がどうあるべきかというのが始まり。 経費削減だけの議論にはなっていない。しかし社会情勢からすればこれも検討の中に加えていくべきと考えている。		
	定数は2割減の27~28人程度。また、報酬は上げた方がいいと思っている。報酬を上げてもっとすばらしい議員活動をしてもらいたい。	意見として伺う。		
	現在奥州市全域の選挙区になっているが、5区の小選挙区制にすれば選挙費用も削減になると思うし、候補者も狭い範囲で選挙運動ができる。	意見として伺う。		
	各種審議会において審議した内容が議会において覆されたり、反映されないことが非常に多いように見受けられる。審議会をもっと活発化したり人選を検討していけば、議員定数を減らしても良いのではないか。	意見として伺う。		
	他町村に日当制のところがあるが、日当制は議論していないのか。	議論にはなっていない。 町村は議会日程も短い。日当をいくりにするかにもよるが、当議会で導入した場合には相当な額になる。また、活動も本会議や委員会以外の部分をどう考えるかということもある。		
	報酬以外に期末手当はないのか。いくらなのか。	月額報酬と期末手当(6月、12月)を合わせて、年間約500万円弱になる。		
	2	若柳地区センター	一般の民間企業の期末手当は1ヶ月分とか、出ないところもある中で、議員や市職員はもらいすぎではないか。少し遠慮しても良いのではないか。	意見として伺う。

		報酬に関して新聞には「生活給」という表現があったが、議員はどう考えるか。	生活給を主張する議員は多くいる。	
		議員の報酬を「生活給」として上げるのであれば、区長とか各種委員、臨時職員等とバランスをとって上げなければならない性格のものだと思う。 検討委員会では、議会の活性化と経費削減もあるという話があったが、経費削減の方が大きいと思う。現在の市の財政が苦しい中で仕組みをつくって、いかに活性化させるかというのがテーマではないか。	意見として伺う。	
		検討委員会を議員だけでやっているのは情けない話だ。本当の議会改革であれば、議員だけで検討するものではないと思う。 検討した意見を年内にまとめるようだが、改革案の取扱はその後どうするのか。このような大事な話は住民投票をすべき問題だと思う。	報酬は特別職の報酬審議会に委ねる方向に現在のところはある。	
		年間通して一般質問をしない議員がいるのか。また、一年生議員に質問をさせて、ベテラン議員が手あぐらをかいている体質はないか。	一般質問は大事だが、それだけの活動ではない。また、そのような体質はないと思う。	
		議会終了後に市当局と懇親会があると聞かすが、今も行われているのか。もっと緊張関係にあった方がいいと思う。	決算、予算議会が終わった後の年2回行っている。	
		議員定数の判断根拠に地域代表との意見もあるが、地域にこだわる必要はない。地区のパイプ役は、地区センターが誕生した。区長や振興会長がおり、パイプ役は我々で十分にまかなえる。 議員は大幅に削減して、奥州市の頭脳集団議会になって欲しい。本当の改革を期待している。	意見として伺う。	
		定数はシンクタンクでも検討されたが、金を掛けて専門的な立場で検討しているのだから尊重をすべきだ。	意見として伺う。	
2	若柳地区センター	議員活動が、定例議会や委員会等で4ヶ月、その他は地元や専門的な活動ということが事実ならば、期末手当も含めて報酬が約500万円というのは、決して安いとは思わない。	意見として伺う。	
		選挙の費用負担が大きいとあるが、市議会議員選挙は公費が出る部分が多く、町村議会議員選挙より費用は掛からないのではないか。	意見として伺う。	

		<p>定数は岩手県内の中で比較をするとそれほど多いとは思わな いが、他県の類似市と比較をすると多いと思う。 (他県は20数人) 一度に20人に削減は過激すぎる。衣川の有権者数から考えれ ば、27人位になる。その辺が現在の34人と20人の中間で適当で はないか。</p>	意見として伺う。	
		<p>報酬は足りないところもあるようだが、現在の状況を考えれ ば上げることは難しく、せいぜい現状維持ではないか。議員は 他の職についても良いので、大変だと思うが兼職でうまくやっ てもらいたい。</p>	意見として伺う。	
	玉里地区セ ンター	<p>定数・報酬については、現状にたった議論が必要だ。合併し たのだから、それを踏まえた議論をしていかないと大幅な改革 にはつながらない。</p>	意見として伺う。	
		<p>定数は20名程度が妥当だと思う。ただし、20名となれば報酬 は50万～60万円に上げないと議員はやっていけないと思う。報 酬を上げるとともに活動の中身もしっかりとしてもらいたい。</p>	意見として伺う。	
		<p>集落が崩壊していく中で、いかに活性化をさせていくかとい う視点に立った場合に、現状維持にこだわってはいはだめだ。 財政が厳しいから補助金を一律カットということではなく、必 要なことは何か、我慢してもらうところはどこか、行財政改革 の視点の中で、定数や報酬は考えていくべきだ。 根本的な考え方として、現状維持とか変えた方がいいとか、 ちまちました議論をしていたのでは、奥州市の大胆な改革はで きない。</p>	意見として伺う。	
2	玉里地区セ ンター	<p>もっとスピード感をもってやるべき。 シンクタンクを否定するようではだめだ。市民や地域が置か れている現状を良くわかっていれば、シンクタンクを否定する ことはないと思う。 私も20名と思っているが、それでは少ないという意見のよう だ。 また、報酬を上げるなどとはとんでもないことだ。上げて欲 しいのであれば、しっかりと現状を把握し市民に伝えて欲し い。</p>	<p>人選等の問題はあったが、シンクタンクを否定するもの ではない。内容の説明を求めているが応じてくれていな い。 ひとつの提言として受け止め真剣に取り組んでいる。 意見は今後肝に銘じてまいりたい。</p>	
		<p>このような懇談会をやるのではなく、各区で議会を開催して 欲しい。</p>	意見として伺う。	

		<p>定数も報酬も現状の市民の人口で考えれば多いとか少ないという議論もあると思うが、30年後の人口がどうなるのか、今と同じような状況で行かないと現状維持とはいかないのではないか。</p> <p>定数や報酬も大事だが、結婚、出産、子育て等、若者にもっと力を向けていくということが今大事なことはないか。</p>	<p>少子化の現状は深刻な課題と受け止めている。</p> <p>子どもを産める環境や雇用がないことも大きな要素となっている。市でも少子人口対策室を設けて対策を講じているが、思うようにいっていない。</p>	
		<p>定数は減らした方がいいという意見が多い。5～6名位減るといふ噂は聞いているが、そのようにしたくて今回の懇談会に来たのかと思っている。</p>	<p>意見として伺う。</p>	
		<p>定数は、人口や面積に対して議員何名というのがあるのではないか。</p> <p>また、県内各市の定数や報酬が決まった背景を調査して参考にした方がいいのではないか。</p>	<p>昨年の8月までは法律で人口によって上限数が決まっていた。面積要件はない。</p> <p>他市の状況はまだ調査していない。今後参考にしてまいりたい。</p>	
	江刺愛宕地区センター	<p>議会改革検討委員会のメンバーは議員だけか。他に識者が入っているのか。</p> <p>また、この委員会は改革なので、市民の税金をなるべく使わないようにしようという改革だと思うが、それを一番に検討がされているのか。</p>	<p>構成メンバーは議員のみ。</p> <p>また、改革については、財政状況が厳しいので行財政改革の観点も入っているが、議会活動の活性化をどう進めようかということがスタート。</p>	
		<p>議会を良くしていこうという改革はわかるが、市民は四苦八苦して生活している。議員は職業であってはならない。ボランティア精神を発揮してもらわなければならないものだと思う。御祝儀をいっぱい出さなくてはならないからといった意見は呆れ果てる。報酬を上げたければ、選挙のときに報酬を上げると表明して立候補すればいいのではないか。</p>	<p>そのような考え方もあるが、はたしてボランティアでいいのかという意見もある。今後議会がどうあるべきかを議論している。</p>	
2	江刺愛宕地区センター	<p>今懇談会の主旨は何か。議会の活性化というのであれば別の発想もあるが。</p>	<p>議会改革検討委員会は議会の活性化がスタート。定数報酬も含めて議会改革がどうあればいいかを検討しており、今回はその中でも定数や報酬も一定の見直しが必要ではないかということで、これまで議員が意見交換した内容も示し、広く意見をいただきたいという主旨で開催している。</p>	
		<p>議会改革検討委員会の検討項目は、委員会の委員が自ら選定しているのか、それとも他からこれを検討して欲しいというものを検討しているのか。</p>	<p>議会の各会派から項目を出してもらい、改革検討委員会と議会運営委員会で検討するものに振り分けて検討を行っている。</p>	
		<p>定数についてシンクタンクからも提言が出されているが、検討委員会に影響はないか。</p>	<p>シンクタンクの提言を俎上に載せて議論はしていない。しかし、その提言が出た時点でこれはどういうことだという話しは水面下ではあった。</p>	
		<p>シンクタンクから出されたことを踏まえて、議員は定数等を検討しているのか。</p>	<p>議会改革検討委員会はシンクタンクより前からやっているので、全く別のものである。</p>	

		<p>シンクタンクから定数のことが出されたのであれば、議員と もっと議論してもいいのではないか。何故議論ができないの か。市民が選んだ議員なのでその位の権限はあってもいいので はないか。</p>	<p>シンクタンクとは市長に対する提言組織。 提言が出された時点で、議会から意見交換を申し入れたが シンクタンク側から断られた。</p>	
		<p>議員が多くなると色々な議論もできず意見も出ない。 また、定数を減らして報酬を上げれば若い人や女性が出られる というが、当選ラインも上がり逆ではないか。</p>	<p>意見として伺う。</p>	
		<p>定数は現在34名で、これは小学校区数あるいは地区センター 数とほぼ同数と聞いているが、議員のいない空白地区はどれく らいあるのか。</p>	<p>水沢は黒石、羽田。江刺は藤里、米里、広瀬。衣川は4つ の地区センターで2人。</p>	
		<p>現在の定数34名は法定上限数と聞いているが、この制限がなく なりそれぞれの自治体の裁量で決められるとの新聞報道を見 たがどうか。</p>	<p>昨年の8月から撤廃されている。</p>	
		<p>これまで定数は現状維持と思っていたが、上限が撤廃された のであれば増員すべきではないか。 議員のいない地区センターがあるということだが、市民の声 を市政に反映させるのが議員の最大の仕事だとすれば、民主主 義の観点から地区に一人はいるべき。中心部は人口が多いので 複数になると思うので、34は超えると思う。</p>	<p>意見として伺う。</p>	
2	江刺愛宕地区センター	<p>また、増員した場合に報酬の財源はどうするかという話しに なるが、市の財政で負担すべき。他の施策同様に予算がないか ら出せないというのとは次元が違う。もし財政が厳しいとい うのであれば、議員自らが報酬を下げるということもやむを得 ないのではないか。 定数の増員という意見もあることを残して欲しい。</p>	<p>意見として伺う。</p>	
		<p>これまでの意見の中に、地区センターが地域における議員の 役割は果たしているので削減をしても良いという意見もある が、地区センターはあくまで行政の肩代わり機関である。議員 とは役割の質が違うと思う。</p>	<p>意見として伺う。</p>	
		<p>議員の仕事は地域のことだけでなく、市全体のことをやれば いいという人もいるが、地域課題を意見提言していくことが仕 事ではないか。やっぱり地域の代表ではないか。 合併時104名議員がいた。定数を減らせば市民の声を閉ざすこ とになる。声が届かなくなることはわかりきっていること。市民 にとっては不幸なことだ。 定数を減らすことが議員自身の身を切ることではない。</p>	<p>意見として伺う。</p>	

		女性議員は3人しかいない。どの組織もそうだが、女性が半分ににならないと良くなっていかないと思う。	女性の立場の目線や意見は重要である。市民に一番近い議員でもあり必要だ。	
	佐倉河地区センター	議員年金が国会では廃止になったようだが、地方議会はどうなっているのか。	昨年の6月1日に廃止になっている。議員を辞めた時点で掛け金の8割が戻るになっている。	
		今懇談会の主旨は何か。定数の削減と報酬の増額を提起しているのか。それともフリートークなのか。	削減や増額を決めて提起しているわけではない。広く意見を伺いたい。	
		奥州市長の報酬はいくらか。	市長：82万6千円だが、H24.1～13%カットで、71万8620円となっている。 副市長：67万4千円をH24.1～13%カットで、58万6380円となっている。	
		議員活動をしていく上で必要な経費がいくら掛かるかという議論はされているのか。	議員活動していく上で必要な経費として政務調査費というのが別に支給されている。	
		議会の開会日数と他に公的活動日があるようだが、家業に携われない日数は年間どれくらいか。	議会年4回、他に全員協議会、委員会等で年間約120日くらいか。	
2	佐倉河地区センター	今の市民の生活状況を考えれば、報酬を上げるということにはならないと思う。市長も職員もカットしている中で、なぜ議員だけという思いがある。 今回だけは見送って欲しい。景気が良くなったら上げてもいい。	意見として伺う。	
		これまでの議員は地域代表という考え方だったと思うが、この考え方だと削減には否定的になると思う。 もっと視野を広げて市全体を網羅して活動をしていくといった考え方に変えていくべきではないか。 削減の方向に行けば、奥州市を全般的にどうしていくべきか等、議員の見る目も変わってくると思う。	意見として伺う。	
		報酬はいくらといってもきりが無い話。今の市の現状をみれば再建団体に陥らないとも限らず、議員には我慢してもらわなくてはならない。 市民の中にも補助金カット等に不満のある人もいるが、財政状況を市民にもよく説明し理解してもらうことも必要である。	意見として伺う。	
		元衣川村長のキクチユタカさんが当時100人委員会というのを設置していた。地区代表に出てもらい、施策を検討したり理解をもらったりする場を作れば、例えば補助金のカットということでも、議員に対する非難もなくなり市民の理解を得やすいのではないか。	意見として伺う。	

		奥州市の法定数は何人になっているのか。	現在の34名が法定の上限。 昨年の8月に廃止になっている。	
		法定数がなくなればどうやって決めていくのか。	国からすれば地域に任せるとのこと。市民と議員とで決めていく。	
		合併時の議員数は何人だったのか。	104人	
		地区センター化となったが、センターの権限が多くなったので、議員は少なくてよいという意見がある。議員はセンターの業務と重複すると考えるか。	地区センターはそれぞれがビジョンを掲げて活動しており、議員との活動とは別であると考えている。	
2	佐倉河地区センター	議員は議員の視点で将来の市のあり方を議論してもらわなければならない。行政の下部組織ではないと思う。 しかし、現状では振興会によって組織の状況が様々だ。今後地区センターの体制がしっかりとした時点で議員を減らせばよいと思う。 現時点で議員定数は、現状維持がよいと思う。	意見として伺う。	
		合併してから地域代表という考えの議員は少なくなってきているように感じる。地域のことばかりではなく、議員の専門性を市政に反映をして欲しい。 地域のためにというのは昔の話にして欲しい	意見として伺う。	
	前沢地区センター	報酬は現状維持でいいのではないかと。 報酬を議員が下げれば、次は職員、次は農協等とデフレスパイラルに陥ると思うので、軽々に手を付けるものではないと思う。	意見として伺う。	
		定数は人口減に伴う修正として考えるべきだ。 また、どれだけ市民の負託に応える働きをしているのかを表す議員の勤務表が必要ではないか。その一つの目安として一般質問の回数ではないか。この活動だけとは言わないが、一番市民に見えるものである。 これを果たしてもらえれば、定数・報酬も現状維持、あるいは報酬は増額しても良いのではないかと。	一般質問だけでなく、議案審議も重要であるので、こももしっかり発言をしていかなければならない。	
		一般質問で議員を評価するという考えは賛成できない。要は議員活動の中身の問題だと思う。 なぜそういう誤解が出てくるかと言えば、議会だよりの作り方に問題があるのではないかと。全体の8割が一般質問の報告であり、こんなものを見てもおもしろくない。 むしろ本会議や委員会の中で、どういう考えでこの発言をしているのかということを広報に載せて欲しい。	意見として伺う。 議会広報編集委員会の中で検討してまいりたい。	広報編集委員会にて要検討

2	前沢地区センター	<p>市民の地域づくりや暮らしづくりに対する意欲や工夫を、議会にもっていつてもらおうと投げ所になっているのが議員だと思う。</p> <p>質問を何回やったのかということが基準ではなく、そうした仕事やっているのが問題だと思う。</p> <p>議員が主導ではなく、市民一人一人が主権者としてできるだけ意見を反映してもらおうというのが議員であり、議員定数を減らすのはマイナスで後ろ向きの考え方だと思う。</p> <p>民主主義は、市民の声がどう反映されたかということだと思う。すばらしい奥州市になって欲しい。</p>	意見として伺う。	
		<p>今、日本の暮らしは旧来と比較して変わってきており、個々の価値観も変わってきている。</p> <p>職業別・男女別・年代別等様々な方々の投げ所となる議員であって欲しい。</p>	意見として伺う。	
		<p>岩手県の最低賃金は全国最低で年間100万円にも満たない人もいる。そのような中で報酬を上げるなどとはもってのほかだ。</p>	意見として伺う。	
		<p>災害時に市民がパニックになっている状況の中で、一番身近な存在として投げ所になるのが議員である。単純に頭数を減らせばいいという問題ではない。</p>	意見として伺う。	
		<p>報酬を増額したからといって優秀な人材が集まるのか。</p> <p>一般質問であれ、議案審議であれ、自分の政策提言が市にどう反映されたのか、後追い調査ということが大事で、見極められる人が議員として求められるところではないか。</p> <p>地方自治は生命と財産を守ることであり、自分のふところ具合をどう増やすかではい。勘違いしないで欲しい。</p>	意見として伺う。	
		<p>議会広報を見ているが、注目しているのは常任委員会の視察だ。ある議会では事務局が視察先のパンフレットをもらってきて報告しているところもあるようだ。</p> <p>視察に行く前に目的を明確にすべきであり、視察後に奥州市政にどう生かされるのかということを明示して欲しい。こうしたことが市民に求められる議員像ではないか。</p> <p>今後調査内容なり結果を具体的に示して欲しい。</p>	本会議にて報告をしているが、市民の皆さんにも何らかの形で示せるように検討をしてみたい。	要検討
2	前沢地区センター	<p>会派は仲良しクラブ的などところがあるのではないかと。市民のためには何も役立たない組織ではないか。そんなところに、これだけの政務調査費を支出しているのには疑問を感じる。会派は一枚岩になっているのか。</p>	政務調査費は本来個人への支給だが、便宜上会派へ支給している。政務調査費で支出できる範囲もあり、それ以外に個人で負担しているものも多々ある。	

		<p>政務調査費の支出基準が市民に示されていないので、疑問を感じてしまう。基準を市民に示すべきであるし、報酬の他に政務調査費があるということも示すべきだ。 議会広報に出してもいいのではないか。</p>	意見として伺う。	要検討
		<p>定数や報酬の検討の根幹をなしているのが、他市との比較だけになっているのではないか。財政状況とか住民所得等を全然考えなしに検討されている。 奥州市は独自に定数・報酬の算定の仕方を全国に先駆けて実施できないものなのか。</p>	意見として伺う。	
3	広瀬地区センター	<p>定数について議員だけで論議してもなかなかできないのでは、各地区センター長からの意見を聴くなどすべきではないか。</p>	各地区センター長なども含めて、様々な団体、組織の方々から意見をお聞きし進めていきたい。	
		<p>定数が減ると、地域の声が届かない。安易に削減すべきでない。</p>	ひとつの意見として今後の参考にする。	
		<p>資料によると、盛岡市議会議員の報酬が高いが、議員活動に違いがあるのか。</p>	議員報酬は、全国的に西高東低、県庁所在地が高い傾向にある。議員活動との関わりは特にないのでは。	
		<p>議会の活性化と議員定数、報酬は別個の話ではないか。報酬は生活給ではない。現行の額で少ないというのはいかがなものか。</p>	議会活性化の中で検討している10項目に入っている。定数、報酬について市民から直接意見を聞いてみようということ今回のもとなった	
		<p>報酬のほかに日当はあるのか。</p>	報酬のほかに日当はない。他に、政務調査費として12,000円/月がある。	
		<p>議員は地域代表なのか。地域の要望は地区振興会がコミュニティ計画をもとに地区センターと市当局と連携を取っている。議員は大所高所に立ち、市の課題、政策に取り組んでほしい</p>	意見として伺う。	
		<p>災害時には、地区振興会や地区センターで対応できる。防災組織も機能している。</p>	災害時に1軒1軒訪問して市に報告するなど議員が対応できる体制が必要である。地区の中で体制を作る必要がある。地区要望については地区コミュニティ計画の中で進められるべき。	
3	田原地区センター	<p>議員定数については、他市の議員一人当たりの定数、面積などからみても、良い線行っている。類似団体を見ても同様である。</p>	意見として伺う。	
		<p>議員定数を減らすことはよいが、30人ぐらいと考える。一気に、20人とはならないと考える。</p>	意見として伺う。	

		議員定数、報酬は市の財政状況が影響する。奥州市は厳しい状況であるが、夕張市のようにはないのか。	奥州市の財政状況は県内他市に比べても非常に厳しい状況にある。しかし、夕張市のように隠れ負債はないと捉えている。即、夕張市の状況にあるとは考えていない。	
		老人社会、一人暮らし、施設入居、若者が少なく結婚しない、子どもが少ない等の実態を踏まえて定数、報酬を考えていくべき。	意見として伺う。	
	衣川地区センター	議員報酬は市全体の予算の何%と決めて執行すべきである。	何%と決めて執行することは、一つの有効な考えとして受け止めさせてもらう。	
		定数増やせないならば現状維持がよい。市民懇談会でも前向きな意見があまりない。市民の意見を聞いて反映させてもらうためにも、地元の議員が必要であり、区ごとの選挙として欲しい。	意見として伺う。	
	生母地区センター	議員定数削減には反対。議員一人に対する人口、面積は多く広い。市民の声が届かない。報酬を上げるのも問題で家族の協力を得てやるべき。	意見として伺う。	
		飯坂議員は子育て世代でどうか。	飯坂議員が答える。	
		地元の議員が報告会をやるので、ある程度は情報を得ている。議員を通して要望も上げることできる。市民懇談会で意見や要望を出しても反映されない。議員が減るとますます反映されにくくなる。	意見として伺う。	
		類似団体と比較する場合に、規模だけでなく活動の中身が同じかどうかと比較しなければならない。そのことによって、市民の理解が得られるのではないか。	合併により定例会日数増、委員会等の出席日数増となっている。調査活動や勉強もしなければならない。通年議会も必要になってくる。生活基盤一定程度確保したうえで議員活動ができることが必要ではないか。	
	藤里地区センター	定数、報酬について、全員から増減、現状維持どちらか端的に答えてほしい。	全員がそれぞれ答弁。	
3	藤里地区センター	議員定数は現状維持が私の考えである。地域の声を吸い上げること、常任委員会の活発化は当然のことである。報酬が上がることで議会改革が図られるのか。議員報酬は上げる必要はない。	意見として伺う。	
		定数を削減した分報酬を上げるという噂が聞こえてくる。市職員の給料を下げたこともあり、12月までに結論を出すとのことだが、慎重に進めてほしい。	定数については、次の選挙に間に合わせるため12月までに結論を得たい。報酬については12月までに結論は到底無理である。今後の議員活動の在り方や専門性を高めること、通年議会の在り方を含めて理解を得られるかどうかということになる。	

		議員が忙しそうで、議員の数が少ないのではないか。定数削減の結論ありきではなく、地域の意見をもっと聞いてじっくり検討してほしい。	意見として伺う。	
		議員は現状か、できればもっと増やしてほしい。市民の声を聞いて市政に反映させることが大前提である。シンクタンクの削減ありきではない。報酬についても上げることもありうる。所得に応じて議員報酬を決めてもよいのではないか。	意見として伺う。	
		地区センターの機能と議員の役割は違う。地区センターで地区要望をまとめているが、それはお願いであり権利を主張できない。議員は地域をどうするかという工程の中でやり取りがあつて、地域を作っていくものである。	意見として伺う。	
	常盤地区センター	シンクタンクの提言にある20人の議員定数は、それで行けるのではないかと考える。奥州市を全選挙区としないで、水沢、江刺、胆沢郡の3選挙区とすれば可能と考える。	ひとつの案として伺う。	
		奥州市が広がって回りきれないというのは、これまでの話であり今は違う。議員は市政をしっかり後押しすべきである。市政を良くすることを考えてほしい。	意見として伺う。	
		資料の中には、議会の本質としての内容が一部出ているが、議会の在り方を会派ごとに論議をして深く掘り下げてもらいたい。その上で、定数、報酬の論議をするべきである。条例、規則についても議会から提案するようにしてほしい。そうすれば、私たちからも意見が出しやすくなる。今や、議員は地域の代表でなく政策を創り推進していくべきである。	意見として伺う。	
3	常盤地区センター	議員は私たちの代表の立場であり、市民を弁護する立場にある。市当局の執行が妥当かどうかチェックをしてほしい。声の高い所に行っているのではないか。議員として専門性も高めてほしい。議会活動の中で市民の選択肢を増やしてほしい。	意見として伺う。	
		今回の懇談会のテーマが市民に理解できる内容になっているのか。定数や報酬は議員活動の内容で決まるのではないか。過疎地域の中での活動が見えない中でなかなか意見も言えない。	議員が市内津々浦々まで把握できない。今回の懇談会は把握するためのものであり、多くの貴重な意見が出されたので参考にしたい。	
4	伊手地区センター	ある程度、人口や規模、財政なりで判断されるべきものと考え。花巻等、同規模のまちと比べてみる必要もある。	議会、議員としてどこまで仕事をするのか。地方分権が進み議員の役目が大きくなってきている。議員の報酬は、仕事の量、内容等で決まるものと思う。	
		アメリカの地方議会方式もあるのでは。	日本と制度が違う。	

		市民の声を聞き反映しなければ改革につながらない。	その通り。	
		各区を回って議会の開催をすることを話し合ったことはあるか。	ない。	
		議員のいない地域もあるが、地域、学区制度を検討したことはあるか。一部の昔からの考え方の人の意見でなく新しい考え方も必要では。	学校再編などは地域のエゴによって賛否がでるが、将来をみて議論が大切。学校がなくなることは寂しい。	
		議長、副議長の任期2年はどういう経過で提案したのか。	議長等の出番が多く、有能な方も多いこと、常任委員会の任期は2年なので、それと合わせるべきと言う事で提案したもの。ポストのたらい回しではない。	
		懇談会の内容が反映されるか。する場があるのか。	集約をして行政に上げるもの、調査が必要なものに分類して市政調査会で検討し進めていく。	
		盛岡市と遠野市を比較して、面積と人口などから報酬を上げれば若い人が議員に集まってくるのか。盛岡は若い人が多いのか。報酬の増額は慎重に。議員活動はサービス業だ。そのことから、定数減は市民の声が届かなくなることであり、サービスの低下につながるのではないか。	報酬増が若い人を獲得する手立て。選挙は無競争ではだめ。仕事の量やボランティア活動にするのかは、市民に決めてもらうのも一考。盛岡は平均年齢が55歳である。	
4	梁川地区センター	議会の活性化と議員定数との関連をどのように捉えているのか。定数が減ると議員は人口の多いところからしか出ないし、出せない。立候補できないのではないか。そうすると市民の声が市に届きにくくなる。	議員は、市民と代表として、市民のリーダーとして市に提言したり、市民と一緒に活動する必要がある。地方分権が進み、議員の役割が重要となっており、そのような活動をするための定数、報酬について、検討している。地域のことは、地区センターを中心に、議員は全体のことを考えて活動する必要がある。	
		報酬は、報酬審議会で検討すべきである。	意見として伺う。	
		議員としてこういう奥州市にしたいという自発的な意見があってもいいのではないか。定数は32人がよい。地区センター各1人と議長、副議長多くの声を聞くという観点から議員はあまり減らすべきでない。	意見として伺う。	
		報酬は、議員が地区センター長を兼務することが良いのではないか。通年議会を行い、4年間は生活ができる収入を確保すべきである。地方政府を作って、30の地区センターを中心とすることにより、職員の人件費を現在の40%ぐらいにできるのではないか。多くの声を聞くという観点からは議員はあまり減らすべきではない。	議会として行革を進めるためには、専門的知識が必要となり、それをカバーするための職員体制も充実しなければならない。	
		行財政改革をやれば全て良いというムードに流されないような大きな視点で対応すべきである。	大きな視点のチェックが行われているかといえはできていない。今後は大きな視点も必要であると認識している。	

	衣里地区センター	議員定数は現状が適切と思う。合併して間もない。30年も経てば状況も落ち着く。奥州市は広くて、遠くの議員が調査だと来られても理解できないこともある。それぞれの地域の中で、まずは活動していただくことが前提だ。減らすべきではない。	議員は住民の代表として地域の声を反映させるためにも議員を減らさない方が良いと感じる。議員が期待されていないとすれば、大いに検討すべき。議員に選ばれた以上、市民と対話して行くことが大切。	
		議員報酬については、現状は高くないと思う。100日以上議会へ出ている。生活給も必要で、退職者や自営業者ばかりでなく若い世代や女性にも多く参画してもらうためにも一定の報酬が必要と思う。	議員の活動を質的にも時間的にも市民が決めてほしい部分もある。若い人や女性が進出してくれる中身にしていきたい。	
4	衣里地区センター	議会の自浄作用、浄化作用がなされているか。たとえば、一般質問などで時間が費やされていないか。ピンボケの質問もある。もっと建設的な質問が必要では。それぞれの議員個々もわきまえて定数や報酬にも望んでほしい。市民・議会・行政は対立ではなく一緒に良いはず。	議会は一般公開されている。ネットでも公開。議会終了後には議会よりも発行している。また、様々に市民の声は議会に届いている。誰もくだらな質問をしようとはしていない。民主主義のとりでとして議会は必要。議員に話しても実現不可能などと言われぬように、議会力を上げて当局に働きかけてやってもらう行動をしたい。議員間でも課題の優先順位を付けさせやらせるくらいの活動が必要。	
	小山地区センター	議員報酬の話題は、市民から出たものか、市長から出たものか。	議員から出たものである。地方分権が進み、市長の権限が強くなり、それに対応する議員にならなければならない。	
		現在の議員報酬は、年収いくらか。	年間約500万円弱である。	
		議員の報酬は、議員で決めるのか。	議会で検討し、上げることになったときは、市長に議会の意見として要望する。市長は、特別職報酬等審議会に諮ることになると思う。	
		7人家族で農業を営んでいるが、去年はやっと230万円の黒字であった。健康保険で約60万円弱納めると手元には残らない。500万円の議員報酬は高い。国保税の見直しを検討して欲しい。	国保税は大きな問題である。原因は国の負担率が低くなったのが原因で国保会計が厳しくなっている。一般会計から繰り入れているが、追いつかないのが現状である。230万円の黒字は立派で良くがんばっていると思う。一部の限られた人だけを取り上げて、やり方次第で農業は儲かるというがそうではない。議員報酬は約500万円だが、手取りは350万円ぐらいでその他の経費も多く大変である。	
		議員報酬の額をみて多いと思ったことはない。定数は頑張って税金を払うので、現状でお願いしたい。	意見として伺う。	
		他の収入がある議員がいると思うので、そのことも考えれば現状か削減ではないか。	意見として伺う。	

	古城地区センター	財政状況から減らしても良いと思うが、過疎地域の声が反映できなくなるので、34名にして市内全体を考えて活発に取り組んでほしい。		
		地区センター化になり地域づくりは自ら出来るようになり、住民組織や自治組織が安定してきているので、議員は少人数でも良いのではないかと。各議員の考えを聞きたい。	議員定数、報酬についてそれぞれの議員が意見を述べた。	
4	古城地区センター	議員定数は、現状維持で良い。シンクタンク提言の20人では、議会として反対者が少なくなり、執行側が楽になる。議会軽視ではないか。シンクタンク提言はどうなのか。財政が厳しいのであれば、他の報酬との関わりもあるが、引き上げはどうかと思う。	シンクタンクについては、議会に対しては相談はなかった。総務常任委員会でシンクタンクへの懇談申し入れをしたが、拒否された。市民懇談会での説明会で対応をされた。構成員は市長の選抜と思う。	
		議員定数は30人前後、報酬は現状維持。中味が良くわからないがシンクタンクの人選に問題があるのでは。身近な水沢の方々で構成されている。総合支所はいらないとの話だが、各区では必要だと考える。市長は奥州の市長になってほしい。シンクタンク答申に振り回されるな。	シンクタンクの提言について、議会はこれを決して良しとはしていない。また、人選に問題があると言うのは、ご指摘の通りだと考える。総合支所の縮小については、市民サービスを低下させないと言う合併時の約束に反するものであり、今後も大いに議論すべきと考える。	
		他市と比べて低いと思うが、議員への志があれば報酬を上げなくても出てくる。		
		報酬は簡単に減らしてはならない。		
		定数はどちらでも良い。報酬については生計を維持し、3～5割アップでも。議員として学び、スキルアップをして目標とされるような活躍を期待している。		
	水沢南地区センター	今日の資料は議員から出たのか。この中に衣川の有権者から一人の議員とあるが、議員定数は、投票率を上げるための削減なのか。削減するとかえって若い人、女性が選挙に出にくくなるのではないかと。議員報酬の中に一般の人より交際費が多いとあるが、一般の人とはどういう人か、このような考え方はおかしい。このような議論ではだめではないか。	どの意見を削除し、何を持ってくるかの判断は難しい。議員としてどのような意見があるのかを示すため持ってきた。衣川から少なくとも1人ということについては、投票率のことではなく、段階的に削減し、最終的に25～26人ではないかという意見であった。	
		議員報酬で生活しなければならない議員はわずか2名、このような議論をしているようではだめだ。もっと質の高い議員を出さなければならないのではないかと。	報酬は、どのような仕事をしているか、仕事に見合う報酬が必要と思う。市民は我々にどのような仕事をしてもらいたいのか示して欲しい。議案の調査をして、判断するにはたいへんな労力が必要であり、それに見合う報酬は必要だと思う。市では、行財政改革に取り組んでおり、議会としても改革に取り組む必要があるということでテーマを設けて、今回市民の皆さんの意見を聞くためにこの懇談会を開いている。	

		議案の採決のとき、欠席、早退するのはおかしい。	意見として伺う。	
4	水沢南地区センター	選挙制度を変えなければ変わらない。付き合い、寄付などお金がかかるのも現実であり、これを治さなければならないのではないか。選挙でポスターを貼り、名前を連呼するだけではだめである。	発言のとおり選挙は政策で選ぶのが望ましいと思っている。	
		様々な問題の賛否を○、×で広報でやる必要がある。これをやらないと金持ちしか選挙に出られない。出すものは出してきちんと活動してもらうのが良い。		
		定数・報酬問題は、市民が決めるのではなく、議員が決めること。市財政を鑑みて判断して欲しい。市民が納得できるように決めて欲しい。		
		陳情などのシステムを明確にしてもらえば議員を減らしても良いのではないか。		
		報酬よりも政務調査費を上げ、使わなかった人は返すという方法がいいのではないか。	古城でもそのような意見があった。	
		議員報酬を上げれば活動は、活発になるのか。現状に基づいてやれば自然と回答が出るのではないか。		
		町内会長の報酬は、年額1万から5万円年収の何倍もかけて頑張っている。末端の意見を聞いて欲しい。議会の活性化を目指している議会とは、どのようにすべきかたずねたい。	町内会長の報酬を聞いたが、本当に感心している。議員も初めに帰り活動をしななければならないと思った。	
	定数も報酬も現状でよい。市民の声を生かす活動をして欲しい。	報酬は上げるべきだと思う。頼まれて立候補したが、活動は増えてきており、報酬は以前より下がっている。選挙でお金がかかり、このような現実を知ってもらいたい。現状では若い人は出てこれない。		
5	胆沢愛宕地区センター	議員定数は早く決められないのか？		
		報酬は今はいいところだと思う。		
		シンクタンクとは何なのか？	市長の政策アドバイザーである。	
		議員定数について何か条例とかが有るのか？	以前は34人までという定めがあったが現在は無くなっている。	
5	胆沢愛宕地区センター	アドバイザーは複数なのか？ 奥州市の事をしっかり把握している方なのか？	5人で大学の先生2名、地元の事業者3名となっている。	

		高齢化が進んでいる、市街地以外のことも把握してほしいし、このような状況に対するアドバイスがほしい。		
		議員の活動内容は議員の方々が一番解っている筈なので、こういう理由でこうなりましたと、説明をきちんと出来る様にしてほしい。私たちが多い少ないと言っているわけではない。		
		岩手・宮城内陸地震のとき、愛宕は大きく墓石など多く倒れた、1ヶ月水が出ないことがあった、何か起きたときは議員が必要だ。		
	白山地区センター	議員の定数・報酬について、このように地区で意見を聞いてどこに反映するのか。	再来年の3月に選挙があるが少なくとも1年前に定数を決める必要がある。現状維持であれ削減であれ20~30の中でどうするのか12月の議会で決めたい。報酬については、市長に、議長から要望し審議会を経て決まる。	
		議員定数の削減は全国的な流れであるが、これ以上減らすのは如何なものかと思います。今回のこのような取り組みでだいぶ認識が変わってきているが、もっと議員の活動をアピールすべきである。報酬についてはノーコメント。		
		議員それぞれが各部所での専門家であればいい。各地域から出すというのも考え方として納得できる方向です。	各区から議員を出せる定数というのは大事だと思う、このような意見があったことを持ち帰ります。	
		民生委員をしているが、研修会では自殺の事例が多くあります。色々な理由があるが経済的な問題が多く、このような中で報酬を上げるのは厳しいのでは。	合併の時、特別職の報酬審議会答申から10パーセントカットされて現在に至っている、これを戻すべきという意見もある。	
	羽田地区センター	議員と報酬の見直しの目的は何でしょう。	市の財政が厳しいのと、地方分権という意味からそれぞれの地域がそれぞれに考える町づくりへと変わってきていますし、議会も政策提案をするという方向に変わって来ています。	
		経費削減が一番大きな目的なのか？	行財政改革の中で職員も減らしていますが、そのような中で議員も考え直さなければならないのではないかと。	
		地域代表とばかりは言っていない、地域を越えて動いてほしい。	市全体の事を考えなければならないし、そのことを要求されてくると思います。今回の懇談会のように皆さんの意見を聞いていきたい。議員の質が問われているので必ずしも多ければいいと言うものでもない。	
5	羽田地区センター	奥州市の財政は大変な状態で、他の市町村と比較すべきではない、矢祭町のように独自のものを、市で決めるべきだ。議員もみんなが出したい人を出すべきだ。		
		給与等については、民間の事業所のデータを出して、市の経済を勘案しながら検討の材料とすべきである。	そのようなデータを市は持っているはずなので、今後、検討の材料として詰めていきます。	

		<p>今回、羽田から市議会に立候補者はいないが、鑄物こと知っている議員はほしいと思います。若い人たちの中に仕事をやめてまで出る意欲が無い、報酬が安いせいかもしれない。年収の総額を明示すべき。</p>	<p>年に500万弱です、他に政務調査費として活動に掛かるものに対し、月額12,000円ありますが、これは収入ではありません。</p>	
		<p>羽田地区の人口は減っている、老人ホーム等で多いようだが実質的には少ない。選挙に行けない人も多い。</p>		
		<p>たとえば衣川の問題に関わる時、一人の議員にまかせるのか。保育園は誰、山林は誰というように、議員それぞれ専門の分野で相談に乗れば良いと思う。議員が少なくなれば地域代表という考えは通用しない。</p>	<p>議会では常任委員会というものがあり、それぞれの分野で担当する部署との話し合いをしています。問題について、調査や意見提案をしながら、解決する方向にもって行きます。</p>	
	水沢地区センター	<p>定数について人数は適当だと思う。奥州市の場合、一生懸命やるには報酬が足りない。だから、他の仕事もやりながら議員活動をやる、どちらにしろ中途半端だから報酬については妥当なところだと思う。ただし、30万円では若い人はやらないと思う。</p>	<p>今、おっしゃることはその通りだと思う。</p>	
		<p>市がシンクタンクを持って来る、本来は議員がやるべきではないか、現在の活動を見ていると人数も報酬も適当ではないか</p>	<p>議員報酬以外にも収入を得ているのが現状である。</p>	
		<p>議会活動を一生懸命やるのであれば、こんな報酬ではつとまらない。ただ、奥州市の現状もあるのではないか</p>	<p>上げようと考えている議員の思いは若い人、これからの議員が議員専門でやっていけるような報酬にするべきだとの思いである。</p>	
		<p>今の時代、若い人は議員をやる人がいないのではないか</p>	<p>だから、上げて欲しいと思う人たちがいるし、議員がやらないからシンクタンクではなく、議員も発言・提案をしている。</p>	
		<p>議員活動を本当にやろうと思うなら、月々50万円、年俸800万円位が必要なのかと思う。</p>		
5	水沢地区センター	<p>議員が自ら身を削るのは大変、市内の有識者が決めるべきではないか。定数削減して報酬を上げるのはどうかと思う。期末手当をもらうのは議員だけではないか、議場のテレビ、質問者・答弁者だけが映っているが、議会の雰囲気分かるように全体も映して欲しい。期末手当はどのくらいもらっているのか</p>	<p>夏・冬あわせて2.5ヶ月位で年間報酬は500万円弱である。報酬については市長が諮問して特別職報酬審議会で決めるのはその通りで、定数については、議員発議により、条例により定数を決める。 シンクタンクは定数を20名としており、市長の政策アドバイザー的存在ではあるが、有識者と見られるのではないのでしょうか。</p>	
		<p>奥州市は上限34名までとなっている。シンクタンクはなぜ20名にしようとするのか、現状をみていないのではないか、我々の意見が通らなくなるのではないか、議員定数を考えるべきで報酬は後でいいのではないか。</p>	<p>議員定数を低くすると厳しい地域、議員がいなくなる地域も出てくるのではないか、報酬の前に議員定数の話し合いをするべきだということはその通りだと思う。</p>	

		定数は適正な定数というのではないと思う。ある部分痛みを伴うものであり、人口減少は避けられないし、定数削減も避けられない。給料が少ないから、議員活動ができないということはない、志を高く持って活動していると思う。		
		議員定数は今のままで良いのではないか、無能な議員を減らせという話であり、市民のための活動をするべきではないか、市民のために活動するのであれば、34人以上増やしても良いのではないか。	財政的な問題、経費削減をしなければならないということから議員定数削減が出てきたのだろうと思う。皆さんの意見を聞きながら検討してまいりたい。	
		この間大きな地震があったが、相談の件数が増えてきているのではないか、34人で回りきれぬのか、相談にのりきれぬのか、シンクタンクの提言について、どのように対応、考えているのか、私は減らすのは問題だと思う。	合併前は104人の議員がいたが、今は34人である。これからは政策提案が重要になってくると思うし、常任委員会の活動も大事になってくると思う。定数については、議員でも色々な考えがある。皆様の意見を聞きながら検討していく。相談は増えている。	
		シンクタンクの提言20人は地方自治法との兼ね合いはどうか、私は極端だと思う。議員の皆様の見解はどうか	議員間ではいくらなんでも20人はないだろうと冷ややかに見ている。議員の間では20人をよしとする人はいないのではないかと私は思う。	
		議員報酬について、民間は200万～300万ぐらいではないか、500万弱は立派ではないか、議員は底辺をみた活動・政策をするべきではないか。私は報酬は現状維持でよいのではないかと思う。		
		議員に女性の方々が出てこられない。校長先生は女性が多いのではないか、育てていかなければならない、皆努力するべきではないか。	選挙となった場合、なかなか出づらさということもあるだろうし、生活給としてみた場合、報酬が多いほうが若い人もやれるのではないか。	
5	水沢地区センター	地域の問題だと思う。その中で、女性を出すか、若い人を出すか、真剣に考えれば解決することだと思う。地元でいらぬ議員は要らないのだ。	議会は若い人も女性も入る必要がある。まちづくりに欠かせず、育てていかないとダメだと思う。	
		システムとして若い人・女性が入れることを考えないといけないと思う。地域から議員がいないと大変だ。定数はそのまま、報酬もそのままが良いのではないか。		
		議員定数を減らすと、若い人も女性の方も出られなくなる。議員定数はこのままでよいのではないか。		
		女性の社会参加は表面上は進んでおり、変化してきているが、生活の実態からすると参加しにくい。議員はひとりひとり頑張っておられる。財政が厳しいとかではなく、民主主義の観点からも現状維持でいいと思う。		

	米里地区センター	議員の報酬について、議員は十分だ、それとも足りないと思っているのか。	議員は資料の通り三種類である。私は上げて欲しいと思っている。	
		私は報酬を上げてよいと思う。予算があるので、難しい面もあるが、定数は削減すべきで、議員活動に専念するのであれば上げてよいと思う。	会場によっては色々な意見を頂いてきた。個人的には定数については現状維持論が多かったように感じている。	
		一定の地域に偏らない全市をみた議員活動・報告をまちたいと思います。議員は何をやっているのか、どのような考えでやっているのか、議員にも優秀な議員、ダメな議員がいるが、チェックはどのようにになっているのか、できる人とできない人、報酬が同じではおかしいと思う。	大事なことだと思う。議員は何をやっているのだということ、議会広報を出したり、一般質問・政策提案もしている。また、表決に関しても公表されており、究極は選挙でチェックされるものと思う。政策について、議員も頑張っていかなければならないし、常任委員会も重要視されてくると思う。	
		地区センターが強化されれば、市長とのルートはできるのではないかと、今までの議員活動では、ダメではないかと、もっと市の問題を洗い出して欲しいと思う。ただ、追認・追認ではダメではないでしょうか。	地区センターを充実させていかなければならないが、地域の声は早く上がってくることが大事である。それができるまでは、ある程度の議員も必要だと思う、段階的に変わっていくものと思う。	
5	米里地区センター	議員定数といわれてもわからない。議員一丸となって、地域全体を見てほしい。我々の地域には、夜帰ってくる議員がいない、皆さんが働きやすく、奥州市全体のことをわかっていただけるのであれば、議員定数を減らす、報酬を上げるのもよいと思いますが、私たちの生活を、議員の方々身近に見てほしい。4年に1度、我々から審判が下るが、自信を持った活動をして欲しい。		
		各地区、奥まで見ていただくのが筋ではないか、全市をみていただくのが議員だと思う。報酬については、市民としては議員活動の結果をみてあげるべきで、現状維持でも良いのではないかと。	議員報酬以外にも収入を得ているのは事実ですが、議員報酬だけで生活できるようになって欲しいという思いもある。	
		民生委員をやっている。議員はなりたくてなった職業だと思う。私達はなりたくなくてもなった職業です。議員は奥州市をよりよいまちにしたいと思ってなったのですから、報酬が多いとか、少ないとか、それはどうかと思う。 定数については、奥州市の生活向上のために必要な定数であり、奥州市全体を考えた議員の数であって欲しいと思う。	別の会場でも、女性の民生委員の方から、現状維持でも良いのではないかとという意見がありました。民生委員の方々はボランティア精神を発揮して活動していただいていることに敬意を表します。	
		報酬について、議員活動に支障があるのであれば、政務調査費を上げていくべきではないか。		

		<p>去年の震災以降、若者は地元に残りたいと思っている。働く場所を確保して欲しい。農業・林業の面での雇用も考えて欲しい。会社においても、業績が上がれば給料が上がる、議員も奥州市が良くなれば、報酬を上げてほしいと思うが、今はその時期ではないと思う。</p>	<p>地元雇用について、急激に人口が減っている。市当局として、議会としても企業誘致等も考えていきたい。</p>	
	稲瀬地区センター	<p>定数・報酬問題は行財政改革から出てきたものだと思う。議会の話が出ないのはおかしい。議会の活性化を図られたほうがよいのではないか、財政問題、チェック機能が弱かったのではないかな？</p>	<p>議会基本条例、まさに議会の活性化である。議会はこれからは政策提案型に変わっていかなければならない。市民の皆様の意見を聞きながら進めていきたい。借金の額、土地開発公社の問題が大きい。理事に議員も出ているし、色々とチェックしている。議会の活性化について、常任委員会での担当部署とのやりとり、議員間討論等、結構なボリュームでやっている。</p>	
		<p>議員定数は少ないのではないかな、数をむやみに下げるべきではない。政務調査費があるなかで、報酬を上げるのは無理ではないかな、政務調査費が具体的にみえてきてから、報酬を考えるべきではないかな。</p>	<p>政務調査費で視察研修に行った後、議場等で報告をし、議会活動に役立っている。皆さんにわかるような活動をしていきたい。</p>	
5	稲瀬地区センター	<p>定数の問題について、現在の議員のあり方はおかしいと思う。地域代表ではなく全市を見た活動をして欲しい。資料を見て、定数の数で各議員の考えの割合を教えて欲しい。</p>	<p>議員間では削減が多かったように思うし、報酬については増額・現状維持、大体同じ数だったと思う。減額は少なかったと思う。議会の活性化ではバランスも大事だろうと思う。ベテラン議員、若い議員、女性議員、また、発言においても、地域のこと、奥州市全体のこと、話すバランスも大事だろうと思う。行政が市民の皆様にとどのような施策をとっていくのか提言をしたり、市の考えがどのようになっているのか、動かしたりすることも議員の活動である。まちづくりにおいて、今後は財政が厳しい折、福祉・介護・子ども等に関して考えていかなければならないので、地元の話ばかりではいけない時代になってくる。</p>	
		<p>財政難でも議員報酬を上げるんだと、とらざるを得ないが、そういう考えで話を聞いている人もいることを認識してほしい。</p>		
		<p>バランスだけではないと思う。選挙の時は現実だと思う。議員を減らそうが、報酬を上げようが、市民が理解するような活動をお願いしたい。</p>		
		<p>報酬については報酬審議会で審議して決めるようですが、定数については、どのような経緯で定めるのか。</p>	<p>例えば、削減する時は何人位に削減すべきかを決め、議員発議で提案し議会で採決して決める。安易に削減することはできない、慎重に進めていきたい。</p>	

総務常任委員会に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	南股地区センター	国は2010年に100%ネットを敷設すると言っていたが、衣川はできていない。できていない現状を深刻に受け止めて欲しい。		
		地区要望の実行率について議会でも取り上げて欲しい。	請願・陳情はその後どうなったかやっているが、地区要望についてもやっていきたい。	
		何かと地区センターに仕事をおろされても、センター長、活動員の手取りは10万円未満と少なく、むなし。	水沢南地区は手当を上げた。	
		道路要望が多いのは、市の仕事は道路整備だと思っているからではないか。もっと市の仕事内容を伝えて欲しい。 また、情報の平等性から、HPでの発信はむしろやめてほしい。		
南都田地区センター	競馬で黒字があったとのことだが、どういうことか。市で貸した借金はどうなるのか。	単年度の話。存廃基準を決めてやっている。ただ市で融資した87億円の返済まで見込める状況ではない。		
	水沢のバスがさくらの湯までは運行しているが、区を越えて胆沢の柳田地区まで延長できないか。		要回答	
姉体地区センター	地域づくり交付金はバラまきではないかとの声もあるが、市に言ってもだめなものを地域でできてうれしい。	行政事務組合に積んであったふるさと創生を利用したもの。ただ、交付金の使い方の指針は出すべきと思う。		
	I L C跡地を汚染土の処理に使われるのでは。	それはないと聞いている。		
真城地区センター	ご当地ナンバーについて「平泉」で奥州市が賛同するのか理解できない。「奥州平泉」なら納得するが。	一関との関係がある。 政治的な部分もある。		
江刺総合支所(岩谷堂)	県との連携で、江刺総合支所の有効活用を。	交渉中のような。		
黒石地区センター	江刺総合支所と県の合庁の交換についてもう少し詳しく聞きたい。	駐車場を含め、現在の水沢の本庁が狭い。江刺の庁舎の一階を支所として、二階以上を県の合庁とし、お互いに賃貸契約し、市は合庁を借りるというもの。県の回答はまだ。		
	国保税の負担が大きい、下げて欲しい。 国保税の決定は議会の議決が必要と思うが、別のところで調整するなど工夫して欲しい。	23年度に市で説明した。市の人口構造の問題がある。高齢者をどう支えるか。現在市民1.5人で1人を支えているが、今年から団塊の世代が5年で1万人増える。国保、介護は市で運営しなければならない。 消費税増税により14億円の税収が増えるが、何らかの形で収入を増やさないと大変になる。市も努力しているが人口構造をクリアしないと難しい。このような流れにあることは知って欲しい。決定は議会の同意が必要。		

1	黒石地区センター	シンクタンクの年間報酬はどのくらいか。	月給5万円。	
2	北股地区センター	衣川の職員の給料は他の地区の職員と同じなのか。	給料は基本的には同じ。合併時に一度に統一できないので、段階的に合わせてきている。	
		衣川総合支所に行っても、衣川出身の職員が少ないが何故か。大きな地震を体験したが、何かあったときにすぐに飛んできてくれる職員がいない。地域課題解決のためにも地元の人の方が良いのではないか。	地元の人がすぐに飛んでいけることも望ましいが、奥州市はひとつという考えのもと、地域間交流（職員交流）によって、いいことを他の地域に普及させていくというプラス効果もあると思う。	
		以前、市職員が地域活動に参加しているか調査したところ、水沢が20数%で一番少なかった。これでは協働のまちづくりの理念に反することであり、本当の地域づくりはできないと思う。地域づくりの根幹であり、是非何にでも参加すべきである。人事を管理する副市長が音頭をとったり、議員もチェックをすることが必要ではないか。	意見として伺う。	
		合併して区間の職員交流がされているが、他区から衣川に来ている職員は、挨拶や笑顔が少ないように感じられる。	意見として伺う。	
		奥州市は県内でも各種税金が高いのではないか。	他市の状況は把握していない。調査の上、地区センターに回答する。	要回答
		北股地区センターは廃校を利用しているが、建物が広すぎて掃除や手間を掛けられず、地域の方から汚いと言われることもある。頑張っているが限りがある。また、夏は暑くて大変だ。せめて人が集まる場所だけでもエアコンを付けてもらいたい。他の地区センターと同様の環境の中で地域の方々と活動していきたい。	要望として伺う。	
若柳地区センター	I L Cの誘致が実現した場合、研究施設等にかかるエネルギーは莫大なものだと思うが、原発エネルギーに頼らないI L C誘致を希望する。 そのために、胆沢ダムの健全な活用にも目を向けなければならないのではないか。			
玉里地区センター	地区センターができたが、もっと地域に予算を配分して地域が責任をもって施策を展開していく必要がある。	意見として伺う。		

2	玉里地区センター	結婚問題は農業委員会でも議論した。農村振興のために何をしなければならぬかという中で、結婚をさせなくてはならないという話しになった。 出会い創出事業はあるが、結婚するまで世話する事業はなく、仲人をしていかなければならないということから女性委員で組織を立ち上げた。 人口減少の要素は色々あるが、もっと的をしぼった対策を講じていかなければならない。具体的な面で行政や議員の協力をお願いしたい。	ぜひ強力に進めていただきたい。 また、議会の中でも建議してまいりたい。	
	江刺愛宕地区センター	毎年地区要望を聞く会があり要望をしているが、その回答はCとDばかりだ。AやBはあるのかと聞けば、水沢が25%、江刺4.5%のようだ。これに議員は不満がないのか。もっと声を大にして話して欲しい。%は水沢と同等に扱って欲しい。	同様に感じている。 これまでの状況がどうなっているのか実態を把握していきたい。	
	佐倉河地区センター	合併して良かったのか。 前市長は学校の建て替えや修理等教育費に掛ける予算ができ良かったと言っていた。	合併により分母が大きくなったことでやりやすくなった。	
	前沢地区センター	民間企業では非正規雇用が増えているが、奥州市ではどうなっているのか。職員の資質の問題もあり、市の将来を考えれば、安心して働ける環境になっているのか、議会でもしっかりと状況を調査して欲しい。	意見として伺う。	
		議会においてシンクタンクのアドバイザーに参考人招致をしたが断られたとのこと。また、会議録の提出を拒否しているとのことだが、どうなっているのか。アドバイザーは公費でまかなわれているのではないか。 今後も追求をして欲しい。	要求をしてきたが実現しなかった。 その後シンクタンクと市民との意見交換会が開催され議員も参加したが、十分な意見交換にはならなかった。	
		市長は総合支所をダウンサイジングすると言っているが、市民には正しく伝わっておらず、支所は廃止されるということになっている。 横文字を使うから正しく伝わらない。日本語を使い市民に正確に伝わるよう要望して欲しい。	意見として伺う。	
3	広瀬地区センター	合併して一番バスが困った。バス運行について不満がある。	市バスの料金は今年4月から統一された。統一運行については、これからの議論となる。	
		消費税増税、賛成の意見と反対の意見を求める。	社会保障費が伸びる中、その財源として増税が必要。前提として、経済の回復低所得者対策が必要。 前回5%に上げた時に、景気が減速し税収が増税分以上に落ち込んだ。今回についても同じでやるべきでない。	

3	田原地区センター	シンクタンクのメンバーはどのように決めたのか・	岩手大・県立大の先生、井筒医院の先生、鎌田段ボールの社長、水沢セミコンダクタの社長を市長が委嘱をしたもので、議会は関わっていない。	
		シンクタンクの提言に対する議員としての考え方を聞きたい。	欠席した郁夫議員を除く5人がそれぞれ答えた。	
		水沢病院は6億円の黒字となったということだが、市が12億円の負担をしているのに黒字と言えるのか。また、ひめかゆについてはどうなのか。	水沢病院の改革プランにより、40億円の負債を計画的に返済するために、市が負担をしている。一般的な見方をすると黒字とはいえないのではないかと。ひめかゆについても、施設、設備の修繕、更新は市費から支出されており、通常の黒字とはいえないと考える。	
		地区センターへのまちづくり交付金は地区により偏りがあるのではないかと。	交付金は基本割に地区の人口や面積を勘案して決定している。偏った配分にはなっていない。	
		おうしゅう0.4%事業は、組織的に投票すれば配分金額が多くなる。問題ではないかと。	0.4%事業について検証が必要と考える。	
		市の広報にパンチ穴をあけてほしい。200万円かかるとのことだが、貴重な資料となるので、入札すると安くできるのではないかと。	年度途中からは難しい面もあるので、来年度に向けて取り組みたい。	
衣川地区センター	合併してどう刺激を感じているか、合併して発見した資源にはどのようなものがあるか。	合併して993平方kmと広大な面積になり、全体を把握しづらくなった。合併効果として、サービスが向上し負担は下がるとの期待があったがそうになっていない。奥州市の統一的街づくりについては、市長も未来像を描き切れていないので、議員はできるような具体論を展開しなければならない。		
	リアコライダーについて、市民の関心をもっと高めるよう議会としても取り組んでもらいたい。子どもたちが将来に夢を持てるよう進めてもらいたい。他国では研究都市ができています。ここにもそのようなものが欲しい。	リアコライダー誘致推進協議会が結成された。議会としてもさらに一般質問や推進にかかわることで、運動の盛り上げに繋げていきたい。誘致になれば研究都市ができるが、研究者や家族が仙台に住むなどにならないようにしていかなければならない。		
	リアコライダーの安全性についてはどうなのか。中性子が発生することについて危険性はないのか。	装置が止まれば機械が動かないので、原発のような危険性はない。電力についても年間24kw使うが供給できる。使い終わったら地下トンネルが核の廃棄場所になるのではと心配されるが、それはないとのこと。		
	衣川の保健センターの駐車場に車止めをつける配置にしたため、衣川まつりに使用できない。様々な行事に使えるよう、車止めを取り外してほしい。	現地を確認し対処する。		

3	生母地区センター	地区要望を4年出し続けても実現しない。コミュニティ計画に入っていない、紳士建設計画に入っていないといわれる。山間部に都会からIターンした人が山小屋を建てている。入居しても道路が造れない。住みやすい環境を作って支えていくべき。	衣川でもそういう話があった。対応していきたい。	
	藤里地区センター	土地開発公社の土地10億円のを1億円で売り出すという。公社の土地が全部で80億円となると8億円で売ることになるのか。大変な赤字の責任はだれが取るのか。	市長から90億円の土地に対して、20～30億円の損が出るとの答弁があった。売却した土地を除くと80億円位の第三セク債を借り入れることになるだろう。責任問題は、検証委員会が設置されるのでその中で論議されるだろう。	
		総合水沢病院と岩手競馬はどうなっているのか。	水沢病院について改革プラン通りに行かなくて、一般会計から繰り入れをし、国の制度を使って18億6,100万円借り入れをし、その返済をしている。常勤医が増えたため23年度は6億円の黒字となった。26年度から奨学生医師が赴任するこれにも改善が期待できる。 岩手競馬については、昨年度3.11のため水沢競馬場が大きな被害を受けたが、JRA、地全協などの支援で12月から開催できた。それまでは盛岡1場開催であったが、売上が好調に推移し、8,300万円の黒字となった。24年度も計画を上回って推移している。	
		H24年5月30日の日報によると、奥州市の23年度末の借金が875億円との報道があった。これを、どのように返済していくのか。	875億円は一般会計の借入額で特別会計も入れると1,260億円位になる。例えば、学校を新築する時に学校建設債を国から借りることになる。その後、学校建設債の6～7割が交付税で戻るが、875億円は戻る額が入っていない額である。市では、将来的に赤字にならないように、試算表を作り努力している。	
常盤地区センター	ILCについて市民がわかりやすく、興味が持てる内容であることの情報を与えてほしい。地域の希望や盛り上がりを作ることになると考えるが、あまりにも内容が専門的すぎる。	奥州市、盛岡市でも後援会や説明会を開催しているが、専門性が高いのはその通りだと思う。子どもたちに話をする、誘致されたいと働きたいと言う。何とか、その環境を造ってほしい。		
	地域の要望は地区センターの中で出している。地域要望については地域に任せてほしい。	他地域でも同じような意見が出されている。地域から出された組織的な要望を議員がバックアップする体制を造ってほしい。		
	地区センター30か所は多いのではないか。行政コストの面からも再編してはどうか。議員は市民全体の立場をくんで活動しなければならぬのではないか。	地区センターが多いのではないかという意見ととらえるが、各地区での地域形成の経過に関わってくる。地元で議員がなくても、振興会で手際よくやっている地区もある。		
4	伊手地区センター	AEDが地区センターに備えられていない。小学校などから行事などでは借りて対応している。設置すべきではないか。	市的にはまだ対応していないと思う。団体などが寄付、寄贈などで配置される。大切なことなので話を通していく。	

4	伊手地区センター	地区センター化になったが地域差があっては良くないの、課題など議会でも取り上げて、議会だよりも掲載しては。	地区センター化については毎議会、議論や話題となっているので、大事なことは掲載するように働きかける。	
	古城地区センター	震災時、職員に対応できる力はあるのか。人材は財産だ。非正規ではなく、身分の保証が必要だ。	現在、正職を減らして臨時対応になっており、退職者の5分の1採用となっている。震災時の対応等考えた場合、職員数はあまり減らすべきではないと考える。	
		地区センター化になったが地域差があっては良くないの、課題など議会でも取り上げて、議会だよりも掲載しては。	地区センター化については毎議会、議論や話題となっているので、大事なことは掲載するように働きかける。	
5	胆沢愛宕地区センター	合同庁舎と江刺庁舎の交換の話は必要なのかなと思う。	教育委員会が江刺の庁舎にいるが、近いほうがよい。建物の有効利用としてひとつの選択肢ではないか。	
		奥州市の入札制度について、地元の業者を大事にしてほしい。経費の削減で安ければいいと言うものではない。	議会でも取り上げられる問題ですが、公正さを担保するという意味で難しい問題です、地産地消という考えで進めて行きたい。	
	水沢地区センター	少子化の問題にしても、若い人の問題にしても、私はそんなに心配していない。奥州市は市民劇場をみても、各地域で盛り上がっているし、参加者を見ると女性の方々もあちこちで頑張っている。議員の方々にも、文化・教育を守り育てるような施策を打ち出し頑張っていたきたい。	少子化については結婚難もある。将来を担う人を育てていかなければならないと思う。議員としても考えていかなければならないと思う。	
	米里地区センター	種山ヶ原を大事にして欲しい。全体をみない市の施策ではないか、種山ヶ原を整備して欲しい。震災で、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」が注目されているが、住田が一生涯懸命活用している。奥州市は一向に見向きもしない。 ILCについて、私たちは来て欲しい。受け入れる土壌を作って欲しい。道路、特にも県道・伊手・口内線も大事ではないか。		

教育厚生常任委員会に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	真城地区センター	Zアリーナは補助金で安く建設できたと聞いたが、維持費が結構かかっていると聞いた。収支決算は。		要回答
		20年間社会教育指導員をしているが、校長先生が会議に出席しても無言である。	一般的に大過なく過ごそうという先生が多い。教育委員を民間から入れることも必要では。校長もがんばっている。	
	江刺総合支所（岩谷堂）	なぜ、江刺の診療所の請願だけ継続審査になったのか。江刺区の診療所は必要だからあった。米里からバス賃がいくらかかるか知っているのか。医療費よりも高い。請願はこの後どうなるのか。	常任委員会で、6月定例会中には結論を出せないで、審査を継続すると議会に報告した。審査を継続させた理由は、地区振興会からの意見聴取が6月定例会後の日程だったことや市立病院以外の医師の派遣があること、更に一診療所につき800万円の交付税の活用方法等について、更に検討が必要と判断したため。9月議会で審査する予定。一日平均2～3人の患者数の実態。医師によっては患者バスを運行して設備の整ったところに運んだほうが良いと考えている方もいる。	
	地元の高齢者について把握しているのか。設備のあるところに行けというのはおかしい。			
	江刺区地区振興会長連絡協議会で出した統一要望で、診療所を継続して欲しいと出した。住民の総意と思う。			
	地域医療という観点で、お医者さんと膝を交えて話すような医療が欲しい。お医者さんにも損得抜きでやってほしい。	私は田原診療所を見に行った。先生は親身になって話をしていて。健診も診療所でできるので、診療所を改善しながら老人がもっとコミュニケーションを取れる場にしていきたい。		
2	北股地区センター	合併前、検診は保険推進委員などの口のコミュニケーションで受診率を上げてきたが、合併後は書面による通知が変わった。受診率を上げることが、保険料を下げることもつながる。市内統一する必要はなく、コミュニティーを壊さずに農村部は農村部の良さを活かした地域づくり、医療づくりをしていくべきではないか。	意見として伺う。	
		今の保険推進委員は、集団検診等の通知の配布が主で、本来の保険推進の役割をしていない。若い人のなり手がなく、70、80代の人がやらざるを得ない状況で、なぜ衣川だけあるのかという疑問の声もある。	地域要望により存続させていると認識している。他にもなり手がなく廃止されてきた経緯もあり、よく検討する必要がある。状況を調査し、地区センターに回答する。	要回答
2	北股地区センター	北股地区センター敷地内にある教員住宅を環境上、安全上から解体して欲しい。	担当部署に確認し、地区センターに回答する。	要回答

	玉里地区センター	奥州市を活性化させていくためには、スポーツの力だと思う。奥州市からいい選手は出ているが、他市他校に行ってしまう、そちらでは盛り上がっている。奥州市に受け皿がないからではないか。 人口減少に歯止めをかけるためには、若者を育てなければだめだ。市全体が一体感をもつことができるスポーツの力は大きい。何か考え工夫をして欲しい。	同感である。 若者を育てていく施設整備等も必要な事だと思う。	
3	広瀬地区センター	医者がいれば広瀬で暮らしていける。広瀬診療所を再開してもらいたい。	要望としてお聞きする。	
		放課後子ども教室が開設されているが、どうして以前のように放課後学校で遊べなくなったのか。	以前は放課後に子ども同士や先生と遊んだものだったが、先生方も忙しくなり対応できなくなった。地域で全体で見守るという意味も含めて放課後子ども教室となった。	
	田原地区センター	胆沢第一小のシックスクールについて、使用材料の選定、施工管理等はどこが部署が行って、どう責任をとったのか。	規格通りの材料を使って、指定された内容で工事を行った。担当部署は教育委員会であるが、具体的に誰かが責任をとったということはない。	
	衣川地区センター	県道花巻・衣川線の懸田地区から衣川小への通学路に歩道がなく危険である。また、用水路も流れており落ちると死亡の危険もある。県道のためすぐ対応してもらえない。冬だけでなく夏場もスクールバスで通えないのか。	教育委員会に照会し、どういう対応ができるか問い合わせる。	教育委員会へ照会、一般質問でも質す
	常盤地区センター	大学の誘致活動はどうなっているのか。県立大学の誘致はならなかった。水沢は学術文化都市であった。沿線の中で大学がないのは水沢だけである。街の活性化につながるのを火を消さないでほしい。	水沢に大学ができるまで進んだ経緯があったと聞いている。相原市長時代には大学誘致を進めたが、小沢市長は、今はそのときではないという立場である。現在は、ILCの誘致に期待している。学術研究都市を形成するためには、充実した教育と医療の環境づくりが必要になる。	
4	梁川地区センター	診療所の継続について、議会でも取り組んで欲しい。	請願が出され、常任委員会で審査したが、シンクタンクの提言をそのとおりだとする委員はいなかったが、現状のままではいいのか、今後の診療所のあり方をさらに議論することになっている。 市長は、拙速に結論は出さない。地域住民の健康を守るために、どのような医療のあり方が良いのか探っていく。	
4	衣里地区センター	様々な課題にスピード感がない。市長にも話をしているが、手をかけてほしい。平泉が世界遺産登録となり長者が原遺跡などが荒れ放題になっている。年に2～3回の草刈はしている。それ以上のことは予算がない一言で逃げられる。せめて、板張りの散策道や誘導表示板などをいち早く対応してくれることを望む。また、以前と違って客層が夫婦やグループに変わってきている。長者が原には何も建物が無いほうが良い。浄土の世界、ロマンを感じる。	登録になったから良いのではなく、これから。 また一般質問や議案にも出てくるので、担当常任委員会等を中心に取り組む。 地元の方々やボランティアガイドなど手立てをしているが、もっとこまめに興味を持って対応すべき。そのために、地元協議が大切なのは。 本物の観光客が増えている中で全市的取り組みが必要。第一印象でマイナス的イメージをもたれないように早めの対応が必要。市の土地になったのでスピードも必要。	

小山地区センター	第3子の保育料はかからないということだったが、実際は審査が必要だった。かからないのではなく、無料になる可能性があると思うべきではないか。	入所待機者をなくす取組みも大事なことである。	
	施設の補修、除雪車なども含め、園児に対して目を向けて欲しい。小さい子どもに対して優しいまちにして欲しい。	除雪機については、市長への要望で今の話をした。	
古城地区センター	小学校統合によって空き地となるグラウンドを、憩いの場所にしてほしい。樹木など集めて環境整備して、古城のために、集いの場として残してほしい。		
水沢南地区センター	子どもの学力向上、30人以下学級という話があるが、10人というところで成果を上げている。後藤新平は人づくりとっているが、奥州市はやはり人づくりだ。将来国際的な目、先見の目で、さすがといわれる教育を進めて欲しい。 学級数と生徒数を親は知らないので発信して欲しい。キャンプファイヤーをやるところとやらないところがあるが、市としての方向性を示して欲しい。 寺子屋事業の参加人数が放射能の影響で激減している。先日は屋外でご飯を炊かず、屋内で電気釜で炊いた。	同感である。まちづくりは人づくり、市独自で手配できるようになればと思う。 キャンプファイヤーは、市が主催とか学校行事ではなく、PTAで決めている。 言えることは、二度と事故を起こさないようにすることが大事です。	
5 胆沢愛宕地区センター	まごころ病院の先生は、地域医療の理想を追っている胆沢にとってありがたいもので異動などしてほしくない。	まごころ病院の医療は素晴らしいものだと思います。市内各地区ではそれぞれ問題を抱えている医療機関がありますが、いいものは続けて行きたいと思います。	
	在宅で介護している、施設に入れられない現実がある。頑張っている人達の支援はなにかないのかと思う。		
水沢地区センター	いじめについてはどうか	問題は学校とか教育委員会がどう対応するかであり、ただ奥州市では今は聞いていない。	

産業経済常任委員会に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	南都田地区センター	市外から採ってきた山菜を市内の産直で売るため検査しようとしたが、市から断られた。	市町村単位で出荷規制になる。広範に亘るので産地の特定が難しい。	
		小山の人が自家用野菜を県の保健所で検査すると1万円の費用負担があると言っていた。	市では無料でやっている。	
		平成25年に胆沢ダムが完成する。観光の計画はあるか。世界遺産となった平泉から市内への回遊性は。	ダム学習館は残し、観光の拠点にする方向性だが具体的な計画は無い。今後の検討課題。 藤原の郷と絡め、大いに議論すべき。 また、平泉から無料バスを運行する方向にある。	
	姉妹地区センター	マイアネタウンの商業施設はどうなったか。 市営の温泉は売却すべきだ。	不動産会社が購入して、まだ手付かず。 ジョイスが用地確保、分譲が進めば出店見込み。 民間に指定管理で委ねるのかどうかも含め、まだはっきりしていない。9月議会で質問したい。	
江刺総合支所（岩谷堂）	基準値より高い乾草を、後で食べさせようとしている人がいるのでは。市やJAでしっかり対策すべき。また、放射能汚染について、被害は何もないと無責任な発言をする教員もいるようだ。無知では困る。	8月9日に震災の特別委員会で2班に分かれて視察と調査をする予定であり、23年産の乾草をどうするかも調査項目に入っている。		
黒石地区センター	人口流出多く、小学生30人以下。黒石に産業誘致して欲しい。また、平泉遺産つながりで、黒石寺、正法寺ルートの観光開発を。	行政視察で色々見ている。是非、産経常任委員会で取り上げる。期待して待っていてほしい。		
2	玉里地区センター	水沢地方森林組合と江刺市森林組合が合併したときに黒字化していくのも大変だと思う。建物の有効活用について議会でも取り上げて欲しい。ここを拠点にしながらか活性化につながっていくような支援をお願いしたい。	意見として伺う。	
		衣川全域が山野草ゾーンとしながらかとても良いところで、それを利用したグリーンツーリズム等を行っている。地域ぐるみで地域の自然を利用した地域づくりをしている。すべて行政に任せるのではなく、地域課題は地域で解決していくことが大事だ。	意見として伺う。	
		松食い虫の問題を議会で取り上げているのか。この問題を放置していたら大変なことになる。考えて欲しい。	県から予算がでているが、市ではかさ上げしていない。	
3	広瀬地区センター	議員定数削減が出てくると、農業委員の定数削減が出てくる。全く性格がちがう。農業で生活ができる状況、農業政策の再構築が必要である。TPPでも国は情報を流さない。	情報に心がけて進めていく。農業委員会、議会も活発にしていかなければならない。	

	衣川地区センター	市の広報で個人農産物の放射能測定を実施しているとの事だったので、5月に申し込んだら個人のは扱っていないとのこと。正確な情報が欲しい。	正確な情報を早く出すように、担当部署に伝える。	
	常盤地区センター	農家が少ないのに、430軒分の農業委員会の広報が入ってくる。14軒の農家の分だけ入れてもらえば、こちらで届ける。ゴミの減量化にもつながるので、何とか善処してほしい。	担当部署に伝える。	
		市の遊休地を使って、漢方の薬になる花木を栽培するなど、収入増につながる取り組みをすべき。	意見として伺う。	
4	伊手地区センター	放射能によって、山菜等は奥州市全体が出荷停止になったため、中山間地域の収入が減っている。JAS法を理由にしているが、行政の怠慢ではないか。もっと市・県の努力が必要だ。	県にも要望したが、市全体に出荷停止の網をかけさせないことが大切。秋に向かってきのこの時期なので、今後も東電との賠償や働きかけを行って行く。	
	梁川地区センター	山菜への放射能問題について、隣の北上では販売しているのに、市全体に販売規制をするのはおかしい。その後の進捗状況は。	規制を解く時に部分的（各区ごと）にできるだけ早く解除するよう県に働きかけていくと話している。東電の賠償問題についても取り組んでいく。 東電の説明では、請求にはきちんとした証明が必要とのことである。	
	古城地区センター	放射能で牧野が汚染された。早く除染を勧めてほしい。老廃牛の流通が停止されている。殺処分よりも可哀相だ。宮城県では、生態検査が出来る様になった。対策をお願いしたい。	近々、議会の震災対策特別委員会で調査をすることになっている。この問題は、原発事故によるもので、国の責任も大きいと考える。議会としても、引き続き力合わせて取り組んでいきたい。	
5	白山地区センター	7月末までに畦畔の草刈を終えているが、焼却を自粛しろという曖昧な指示では、一人二人と燃やしているのが実態、どこかに集めるとかの方法は無いのか。		
	米里地区センター	牧草地の除染が進まない。会社からは何の連絡もない。7月10日、会社に電話しても返事も連絡も何もない。非常に不安である。我々は被害者である。壊した物は壊した人が直すのが当然ではないかという思いで、公社委託にしたが、今年できないのであれば、必ず2、3年かかるのが除染しますという確約、また、その期間中、代替飼料を絶やさないという約束を書面をもってほしい。	各省庁、それぞれに話をしているが、一向に進まないのは事実であり、議員としても強い憤りを感じている。	

建設環境常任委員会に係る意見、要望等

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理（調査・回答等）
1	南都田地区センター	市の放射能測定器を借りて2区の40ヶ所を測定した。この器械はガンマ線測定器だった。ガンマ線とセシウムの違いは。支所の担当者でも、この違いを説明できるようにしておいてほしい。	当局の説明はベクレル、シーベルトしかないので、詳細はわからない。	
		国道397の街路灯25基が大方故障、更新に1基10万円掛かる。市で補助出来ないか。公設民営になっている。無灯火だと道路占用許可に反する。撤去もしくは防犯灯への切り替えは。N T Tや電力の電柱を借用する方法が良いのでは。	地元の町内会で市で大和ハウスからL E D球の寄付があったと聞いたので付け替えた。ただその際設置に市内業者には2～3万円掛かると言われたが、ほかで3,000円で設置する業者があってやってもらった。まだ市でL E Dを200持っていると言っている。	
	姉体地区センター	第二バイパスが早く来るように。	R 4号の協議会を結成しているが、予算はダウン。	
		市の消防の階級は9階級、日消に合わせるべきだ。	取り上げていきたい。	
		芝生の放射能が高い、どうしたらよいか。やり方を市で示して欲しい。	市民環境課に確認して進めて欲しい。	
		放射能の後処理をどうするか、明確に善処して欲しい。		
	真城地区センター	汚染土の仮置き場はどうなっているか。議員は関わっていないのか。	自己管理の暫定措置。最終的な処理地は未定で5区に200トン級の仮置き場を作ろうとしている。地区センター等の声を聞きながら探している。	
	黒石地区センター	汚染土の取り扱いについて。	暫定に仮置き場を設置している。各区200tを保管できる場所を地域の声を聞きながら選定している。	
		市内で線量が高く要注意の場所は。また、食品の検査はどうなっているか。	衣川、前沢、水沢、胆沢の一部が国の除染地域になっている。子ども達の施設は除染が進んでいる。市の農政課で電話予約している。車両センターで行っている。	
		震災のガレキの岩手県分、奥州市ではどういう支援をするのか。ガレキにも放射能はあるのか。	7月から広域行政組合で日量10tを処理している。焼却灰は江刺の県のクリーンセンターに運んでいる。市の可燃ごみも線量が高いときがある。混合焼却している。	
		市道長田鶴の木線の支障木の処理に困っている。我々が切っても良いが、持ち主が多く、了解を取るのが大変。		要回答
		異形十字路と言われる鶴城のT字路に信号機が欲しい。		担当課に伝える。

2	北股地区センター	衣川には市内で唯一、消火栓にホースが付いているが、ホースが古くなり使えず危険な状態にある。交換の要望をしたが、市内では衣川だけの配備なので対応できないとの回答だった。消防団員の減少や地域の形状により、災害時に敏速に初期対応できないことから、市としての対策を考えて欲しい。	状況を調査し、地区センターに回答する。	要回答
	若柳地区センター	胆沢ダムが完成するが、防災面にもっと目を向けて欲しい。周辺の荒れ具合は大変で、砂防ダムを造ってもすぐに埋まってしまう。今後大雨が降ったりすれば大変な事が起きてしまう。昨年の震災を受けて調査をして学んだことである。危ないところにダムを造ってしまったので、要注意だ。防災マップを議会が本気になって整備をして欲しい。	議会の中で話しをしながら、共通の理解として認識をしていきたい。	
	玉里地区センター	費用対効果を盛んに謳い実施した時期があったが、3mの市道を舗装している状況があるが、これが費用対効果か。費用対効果をもっと考えて欲しい。	市民生活上必要なところ等、場合によってはやらざるを得ないものもある。	
		20年程前、人首川の火石沢の橋に土砂が溜まり、更に真下のカーブ付近に島が2つ出来た。当時、除きますと言われていたが、まだ手が付けられていない。増水するたびに水が上がりやすい。土を取ってもらいたい。土木に要望書も提出している。	人首川は県の管理河川になっている。担当課に伝え、その回答を地区センターに連絡する。	要回答
江刺愛宕地区センター	国土調査が全然進んでいない。そのうち、道路幅で土地が狭くなっているのに税金は元のおりに取られている。支所に行き行って聞いたが、わからないので本庁に行き行って聞いてくれとのことだった。	懇談会終了後に詳細を伺いたい。	議員の個別対応	
前沢地区センター	今回の原発事故を受けて様々な対応がされているが、こうしたことをはじめ、何かあった場合にどのような対応をすればいいのか、どのような補償をすればいいのかを議論しているのか。市民の安心安全のため、何かあってからではなく、もっと先を見越した議論しておく必要があるのではないか。	意見として伺う。		
	(上記関連) 20年後30年後に癌にかかる割合は高くなると思う。その時ではなく、今から想定をして対策を検討しておく必要があるのではないか。	意見として伺う。		
3	広瀬地区センター	災害対策本部に消防団幹部が入れるようにして欲しい。県内では奥州市だけ入っていない。	入れるよう議会の中で取り上げていきたい。	
		子どもたちや農業を守っていくために、放射能汚染、TPPへの対応をどう考えるか。	奥州市全体で考えていく。TPPについてももしっかり検討していかなければならない。	

3	田原地区センター	人首川、伊手川の木が森林のようにになっている。剪定を市にお願いしても進まない。振興局に行ってもあと数年かかるとのこと、何とかしてほしい。	区内でも河川の対応がまちまちである。市として政策をしっかりと立てて取り組むよう進めていきたい。	
	生母地区センター	地域の要望 河東線（県道）を平泉との関連で観光バスがよく通るので整備が必要である。 姉体、白山の旧堤防の整備が必要である。 小谷木橋を早く新しい橋に。 統合前沢小学校で空いた校舎や跡地の活用を地区の意見を聞きながら図ってほしい。 北上川にかかる3本の橋のうち2本は普及したが、改良復旧が必要である。 母体小、赤生津小の記念誌を作成するが補助を出してもらえないか。		
		放射線量高く、野菜など孫、子どもたちに食べさせることができない。どうしたらよいかというのが皆さんの悩みである。	農産物のベクレル数を計測し、その上で判断するしかない。市には4台の測定器があるが、簡易検査はできないので、市の検査場に持ち込んでもらうことになる。	
4	梁川地区センター	横断道から水沢へのアクセス道路を拡幅ではなく、新設して欲しい。	常任委員会として、現地視察等を行い、議会として努力する。狭隘な館下地区の道路については、振興局にも話をしている。	
	古城地区センター	昨日、水沢と前沢をつなぐ水沢バイパスの連結を要望した。区として住民運動を起こそうとしている。応援してほしい。幹線道路が2本あることで、産業振興につながる。費用対効果もプラスと思う。	折居交差点解消など、議会でも取り上げている。	
	水沢南地区センター	放射能問題で側溝の土砂など集めないとのことだが、仮置き場について来週説明を受けることになっている。	一関市で仮置き場を決めたところ反対にあったので、奥州市では各区と相談しながら進めている。老廃物の問題、山菜、きのこなどでも問題になっている。	
5	白山地区センター	前沢町時代の要望（通称競馬道路の整備）が合併後何年もそのままおかしい。		
		前沢区の統一要望で水沢東バイパスを前沢バイパスに接続してほしいという世論を形成して行きたいと思う。		
		原発の再稼動に反対する前に、省エネなど考えるべき、前沢の幼稚園・保育所には24時間電気が点いている、これから作る建物はソーラーやLEDなどの導入をすべき。 前沢小学校には太陽光発電の設置予定はないのか。	非常灯の明かりではないかと思う。 小学校の建設予算にはなかったと思うが、今後助成制度などがあれば活用を検討すべきだと思う。	

5	水沢地区センター	大町の立体交差、勾配がきついので歩道だけでもロードヒーティング凍結防止するべきではないか、多賀大橋も冬場は大変である。歩行者に配慮するべきではないか	担当部署を通じ地区センターへ返答申し上げたい。	調査・回答を要する
	稲瀬地区センター	国・県への要望だと思うが、地震の際、震度を表す時、奥州市のどこなのか、わかるように気象庁へ要望してほしい。	検討したことがないので、意見として承り、市に聞いてみたいと思う。地区センターへ返事を申し上げます。	調査・回答を要する。
		(議員から) 東北油化の異臭の問題はどのようになっているのか、逆に伺いたい。	(市民の方から) かなりよくなってきているが、今も臭いがする。今はカラスの害がひどくなっている。江刺区の統一要望として市長にもお願いしている。	
		除染作業の取り組みについて、市独自の除染について伺います。	教育施設を測定し除染したが、他はなかなか進まないのが現状で、除染土の仮置きについては現在、各区毎、地区センター毎に検討中です。	
米里地区センター	市道認定について、国交省の施設があるが4M幅はないが、認定の見直し・術をお願いしたい。市長へは何回も要望している。かつて計画にのったものが、まだ、実行されていないものがあるが、それも検討されているという話でしたが、中沢川と人首川の合流するところ、途中で中断しているが検討していただきたい。			

議会に対する意見、要望等・その他

班	会場	質問、意見、提言等	回答（説明）	処理(調査・回答等)
1	南股地区センター	議員は一般質問などの際、他地区のことを一番に取り上げてほしい。	議員の自覚による。	
		中学生、高校生の意見を聞いて欲しい。		
		市の職員も懇談会に出席すべきだ。		
南都田地区センター	市では活性化に向けてどういう計画があるのか。後ろ向きの話ばかりで、マイナスのスパイラルになるのではないか。前沢、江刺は活気があるが水沢は元気がない。前にあかりがみえるようなこともやってほしい。	水沢は残念ながら汗を流す力がない。まちは周辺農家があってこそ豊になると思う。自ら汗を流すべきだ。		
	報酬の資料の中に、議員の専門性とあるが、職員が提案したものだけではなく、委員会等の議員が発議できるシステムはあるのか。	例えば、子どもの権利条例が23年4回定例会で提案、制定された。		
姉体地区センター	議会だよりの採決結果一覧表に早退、欠席とあるが、どういう使い分けか。	早退は身内の葬儀などで早く帰ったもの、欠席は病気入院等のため休みだったもの。		
真城地区センター	子供たちに模擬議会の必要性を感じる。			
	会議等で水沢の意見に他の地区が全部反対する場面がある。これをチェックして欲しい。	合併時、協議会で認識しながら進めたことだ。		
江刺総合支所（岩谷堂）	今日の懇談会の参加人数はこれまでで最少でないか。少ない理由をどう考えるか。	議員活動が市民に理解されてない。市民に理解してもらえるよう長い時間をかけて努力していきたい。若者は政治に関心がない。行ってみようという声がけもお願いしたい。私は毎年10箇所で開催をしており、有権者も来てくれる。地域の議員なら行くということもあるのかもしれない。		
	また、災害時以外の市民の意見の取り上げ方はどうしているのか。	個々の議員の考え方による。地域の人たちと議論していきたい。会社経営の観点から行政を見ていきたい。		
		合併後事業の進捗状況等が遅い。議会が目光らせて欲しい。		

2	北股地区センター	前回北股地区センターで開催した懇談会の内容はどのようなものが出されていたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンクタンクの構成メンバーについて ・ 特別職の報酬について ・ 水沢病院の待合室の状況について ・ 市道改良工事について ・ 消防団の確保について など 	
		女性議員がもっと増えて欲しい。定数の半分くらいは必要ではないか。	意見として伺う。	
		大変暑い中での懇談会だったが、飲み物があっても良いのではないか。熱中症になっては大変。暑いときは冷たいお茶、寒いときは温かいお茶などの配慮が必要ではないか。	どのようにできるか検討したい。	要検討
若柳地区センター	議会だよりの賛否の公表の中で、前沢統合小学校新築工事に関わって反対討論があるが、建設に反対ということか。	この反対については、入札が正しく行われていないのではないか、疑われると判断されるということから反対したもの。		
	議会だよりが大変読みやすく立派になったと思う。議員の皆さんに敬意と感謝を申し上げる。	意見として伺う。		
玉里地区センター	今日のような懇談会も大事であるが、未婚者の若者と懇談することも必要ではないか。	意見として伺う。		
江刺愛宕地区センター	大飯原発再稼働反対議案については全員賛成で可決だと思っていたが、反対討論もあったようだ。はたしてそれでいいのか。	(反対討論内容について説明)		
	市民の間では、合併は間違いだったのではないかという声が圧倒的だ。合併したことが良かったのか。議員はどう思っているのか。	(議員の個人意見を述べる)		
佐倉河地区センター	請願採択されたものは、この通り実現にならないのか。どのように取り扱われるのか。平成10年に採択になったものがまだ手つかずになっている。その内に議員も職員も変わりまた振り出しに戻る。	議会ではやるべきだと採択するが、実際に実施するのは市。市も優先順位があり、すぐにできずにそのままになっているものが多くあるのが現状だ。		
	要望を出してもすぐにできず、何か事故が起きてから実施するような現状ではないか。事故が起きる前にやって欲しい。請願採択になっているのに、事故があってからでは遅い。	市の実態は、行財政改革を行っており、職員数や給料の削減等を行い財政をもたせてきている。そうした中で要望に応えるのも難しくなっている。		
	議会だよりに採決結果の一覧の掲載があり、早退や欠席と表記されている。採決の時点でいないから早退という意味だと思うが、採決の時点での早退や欠席という表記が適切なのだろうか。	棄権とすれば、その場にいっても採決に加わらないということにもなる。広報編集委員会で検討したい。	広報編集委員会にて要検討	
2	佐倉河地区センター	採決を欠席するという事は、議員としてどうか。報酬をもらっているのだから、最優先で出るべきものだと思う。	故意に欠席をするわけではない。	

	前沢地区センター	奥州市議会内で農業関係の議論が少ないとの話しもある。市の基盤産業でもあることからしっかり議論をして欲しい。	意見として伺う。	
		今回の懇談会は第4回とあるが、今まで見落としていたのか。また、今日のやり取りを見てると、ただ質問して答えるだけで本当の懇談になっていないのではないのか。例えばテーマが議会の活性化であれば、2班としてこうするというのがある、それに対して意見交換するのが懇談ではないのか。今日のやり方は懇談の意味が違うのではないのか。	年に10カ所づつ任期中に回ることにしており、過去3回開催した。誤解を与えてしまった。また、懇談会のあり方については、今回は定数と報酬をテーマとして広く市民の方々に意見をもらいたかった。	
		合併協議会のことが尾を引いているものが多々あるのではないのか。一体化しつつあると言うが、すっきりしない。	合併しなければ良かったとの意見もあるが、それを言うより一つでも二つでも改革に向けて取り組んでいきたい。	
		災害時の議員の担当等の割り振りはあるのか。全部職員に任せるとするのは理由にならないのではないのか。分担がされていないのであれば、今後検討していく必要があるのではないのか。現地に議員が顔を見せるだけでも違う。	現状として議員個々の責任で個々に動くしかできない。あり方を検討することは必要だと思う。	
3	広瀬地区センター	会派で採決が分かれているのはなぜか。	採決の前に議論をするが、個別の案件では一致しないこともある。	
	田原地区センター	政務調査費はどう算定され、他市はどうなっているのか。	一人12,000円/月で算定されている。花巻市、北上市はともに20,000円/月である	
	衣川地区センター	大震災により衣川の総合支所、公民館、体育館等が被害を受けたが、復興のための予算に議員がどの程度目を通してしているのか。	震災被害への対応については、復旧等の補正予算や大震災調査特別委員会の中で審議検討している。	
		会派は市民にどれだけの効果があるのだろうか、全体が一つの会派でいいのではないのか。	会派については、市政への対応や市民の皆さんと考える上で、共通の認識を持って連携していくのが会派だと考えている。議案に対する賛否が分かれるときには、会派内で充分論議を行いお互いを尊重する。	
生母地区センター	今回の市民と語る会の議員の班編成はどのように決めたのか。	議会改革検討委員、常任委員会所属、出身区や会派を総合的に勘案して決めている。		
3	藤里地区センター	議会改革検討委員会には学識経験者は入っていないのか。これまで週1回の検討でどこまでやってきたのか。⑥～⑩についての検討状況はどうか。	検討結果には結論が出たものを載せている。検討中なのは、結論が出た時点で報告する。あくまで、議員の中で検討委員会としている。	
		地区要望について、藤里では7項目の要望を出している。また、江刺の統一要望には藤里として1項目の要望が入っている。何とか、議員の皆さんの力添えをお願いしたい。	可能な範囲でバックアップする。	

		出席議員は次期選挙に出馬するものとする。現時点での考えている公約を述べてほしい。	最初は迷っていたが、それぞれ项目的に述べた。	
	常盤地区センター	政務調査費の中で研究研修費が一人当たり6,000円の会派もあれば10万円近く使われている会派もある。どうなっているのか。	研修会に参加した時に、参加費や負担金があった場合に研究研修費として計上している。会派で参加した場合と個人の研究テーマにかかわる場合とがある。	
		本会議の一般質問の中で、細かい質問をしているがいかがなものか。どこの道路がどうかは本会議の中でなく担当課に行って話をすればそれで済むことである。市政の本質を質してほしい。	意見として伺う。	
		本会議の部課長の服装が乱れている。市長はきちんとしているのに。	意見として伺う。	
4	伊手地区センター	議会として原発や消費税の意見書を提出したようだが、深く議論したとは思えない。原発については温暖化対策や二酸化炭素の削減も根底にはある。消費税については平等性から公平に集める税体制が大切。	○再稼働は設置されている地元自治体の考え方にある。しかし、本当に必要かもっと議論すべきと考える。 ○消費税について、民主党が出した公約に違反している。 ○増税ではなく所得税などの集め方や課税の見直しなどで社会保障の充実を図られると考える	
	衣里地区センター	懇談会などで同じことを語るとしつこいと思われるが大切なことではないか。	大切なことと思う。	
	小山地区センター	市民の声を聞くと選挙などで議員が言っているが、部落に来て地域の声を聞くということは殆どないがどうなっているのか。このような懇談会をどうして平日に開催するのか。	個人差があり、こまめに聞いている議員も多くいる。議員個々で活動の温度差がある。 今回30ヶ所で昼と夜開催する計画を立てた。議員の予定等も加味しての開催である。	
		現在の奥州市政の重要案件は何かあるのか、2、3上げて欲しいし、それに対してどう取組んでいるか。	(議員個々に回答) ・ 議会の活性化 ・ 協働のまちづくり ・ 放射能の除染問題 ・ 土地開発公社の債務問題 ・ 若者の正規雇用 ・ 特養ホーム等待機者問題	
4	小山地区センター	議員は、地域の人たちや地区センターとよく話をしたい。道路改修の要望が多く、金がない、金がないではなく知恵を絞って欲しい。	議会地元で道路問題を取り上げたが、議員は自分の地域の道路のことは言うなという声もあった。議員は市民生活に密着した問題を解決しないと不信感が募るのではないかと。市民のためにより良い予算の使い方を提言していく必要があると思っている。	
	古城地区センター	一般質問について、当選して9回の議会があって、全議会で質問している方もいれば、一回もしていない方も2人いる。持論だが質問6回以上は合格、5回以下はだめ	自分は1期目は、4回のうち3回は一般質問を行った。2期目は監査委員になり、できるだけ一般質問はやらないようにと言われている。	

		<p>農業関係の議員は18人いるが、議会の議論が足りない。もっと活発に議論してほしい。</p> <p>6ヘクタールの創設換地をしたが、管理面で心配している。埋め立てをして活用出来る様にしてほしい。</p> <p>パークゴルフ場については、医療をセットで考える必要がある。パークゴルフ人口が増えており、健康保持・増進の効果を考えれば、国保特別会計の軽減にもつながり、セットで考えるべき。</p> <p>パークゴルフ場建設のため1億900万円の持参金はある。合併特例債とあわせて、3億円ぐらいで事業を。埋め立てして対応を。区の判断も大切と思いい用地取得のみならず進めてほしい。</p> <p>パークゴルフ場のことは表ざたにしないほうが良いのでは。</p>	<p>農業問題は難しく議員対応が多い。やはり、農業問題を勉強してほしいと言われる。</p> <p>パークゴルフ場については、買い上げの費用は見ていたが、ゴルフ場をつくる予算はなかったと認識している。急いでやらなければならないことを優先すべきと考えている。</p>	
	水沢南地区センター	<p>議員立法はいくつできたか。</p> <p>子どもの権利に関する条例の説明会のときも出席したが、数多くの会場で開催され、どこの場所にもいけるというのはありがたい。このような形で続けて欲しい。 地区のことは、地区センターや振興会長が分かるので、議会は市全体のことを考えてやってほしい。</p> <p>大船渡市、陸前高田市との3市議会の研修会の写真が新聞に載ったが、イメージ（飲み会）を損なうような写真ではなく、その辺の気配りをして欲しい。</p>	<p>奥州市ができてから二つ。</p> <p>小山では、土日の開催でなければ参加できないといわれたが、このような懇談会は、議員にとっても有意義なのでむしろよろしくお願ひしたい。</p> <p>両市の悩みや問題点などを聞いてよかった。</p>	
4	水沢南地区センター	<p>議会だよりを読んでいますが、その成果が見られない。行政視察の成果を議会だよりに是非載せてほしい。</p>	<p>広報委員としては載せたいが、紙面の関係で視察の成果までは載せられない。百聞は一見にしかずという言葉があるように現地を見るとたいへん勉強になる。 研修の成果をさらに、又すぐに出すことが可能になるよう職員と一緒に同行してもらい協力して進めるように今年からなった。</p>	
5	米里地区センター	<p>政務調査費は活動したたびにもらうのか、それとも前もって予算書を出してもらうのか。</p>	<p>報告書と領収書でもって、活動した人はもらえるし、活動しない人は毎年度返金する。</p>	
	稲瀬地区センター	<p>議員は市全体の政策立案をしていくような姿勢をみせれば、活性化にもなるのではないか、大事なことだと思う。</p>	<p>研修においては、常任委員会を担当職員も議員も同行して研修をしており、今後の市の発展に役立てていきたい。</p>	

	懇談会において、議員の方々はメモをとっているようだが、普通なら書記がいて、市長につなぐところだ、話してもムダではないか。	録音をし、報告書を書き、皆で検討して具体的に進めていく。答えについては、即答できない時は地区センターを通じて返答します。	
--	--	--	--

第4回市民と議員の懇談会参加者数及びアンケート回収率

自治区名	会 場	参加者数	アンケート	
			回収数	回収率
水沢区	水沢地区センター	12	11	91.7
	水沢南地区センター	13	11	84.6
	常盤地区センター	22	18	81.8
	佐倉河地区センター	9	8	88.9
	真城地区センター	18	14	77.8
	姉体地区センター	14	14	100.0
	羽田地区センター	8	7	87.5
	黒石地区センター	17	15	88.2
	計	113	98	86.7
江刺区	江刺総合支所（岩谷堂）	13	13	100.0
	江刺愛宕地区センター	17	13	76.5
	田原地区センター	18	13	72.2
	藤里地区センター	29	22	75.9
	伊手地区センター	14	11	78.6
	米里地区センター	20	18	90.0
	玉里地区センター	31	27	87.1
	梁川地区センター	24	18	75.0
	広瀬地区センター	19	15	78.9
	稲瀬地区センター	28	22	78.6
	計	213	172	80.8
前沢区	前沢地区センター	7	5	71.4
	古城地区センター	38	27	71.1
	白山地区センター	8	8	100.0
	生母地区センター	4	3	75.0
	計	57	43	75.4
胆沢区	小山地区センター	5	4	80.0
	南都田地区センター	10	8	80.0
	若柳地区センター	10	6	60.0
	胆沢愛宕地区センター	3	3	100.0
	計	28	21	75.0
衣川区	北股地区センター	14	12	85.7
	南股地区センター	12	11	91.7
	衣川地区センター	9	8	88.9
	衣里地区センター	8	5	62.5
	計	43	36	83.7
合 計		454	370	81.5

* ご協力ください

奥州市議会に対するアンケート調査

(該当するところに○をしてください。)

(地区)	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川		
(性別)	男	女					
(年代)	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	

問1 市議会に関心はありますか。

- ア 関心がある
- イ 関心がない

問2 市議会だよりを読んでいますか。

- ア 全部読んでいる
- イ 関心のある記事だけ読んでいる
- ウ 読んでいない

問3 市議会を傍聴したことがありますか。

- ア ある
- イ ない

問4 市議会の議員の定数は現在34人であることを知っていますか。

- ア 知っている
- イ 知らない

問5 市議会議員の人数について、どう思いますか。

- ア 多い
- イ 適当である
- ウ 少ない
- エ 分からない

問6 市議会議員の報酬は月額32万1千円であることをご存知ですか。

- ア 知っている
- イ 知らない

問7 市議会議員の報酬についてどう思いますか。

- ア 高い
- イ 適当である
- ウ 低い
- エ 分からない

問8 奥州市議会に対するご意見があればご記入ください。

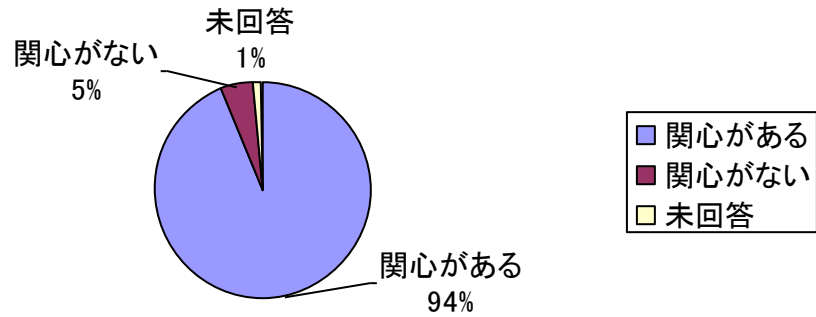
(記入欄が不足の場合は裏面にもご記入ください)

[]

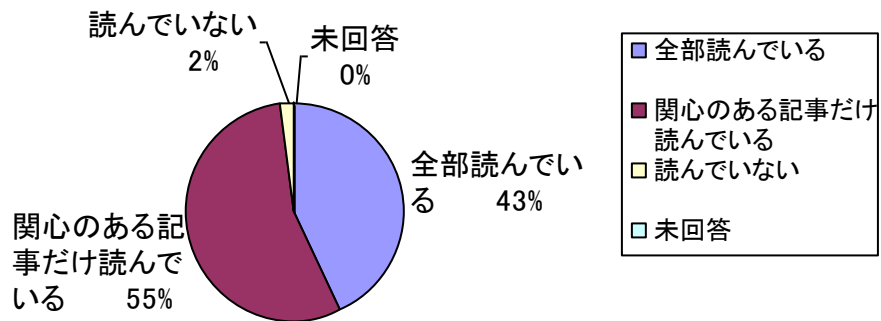
第4回市民と議員の懇談会アンケート結果

問	回 答	男	女	計	割合%
問1 市議会に関心はありますか	関心がある	312	35	347	94
	関心がない	15	3	18	5
	未回答	3	2	5	1
問2 市議会だよりを読んでいますか	全部読んでいる	148	11	159	43
	関心のある記事だけ読んでいる	177	27	204	55
	読んでいない	5	2	7	2
	未回答	0	0	0	0
問3 市議会を傍聴したことがありますか	ある	110	15	125	34
	ない	218	25	243	65
	未回答	2	0	2	1
問4 市議会の議員の定数は現在34人であることを知っていますか	知っている	292	31	323	88
	知らない	38	8	46	12
	未回答	0	1	1	0
問5 市議会議員の人数についてどう思いますか	多い	136	4	140	38
	適当である	125	15	140	38
	少ない	17	4	21	6
	分からない	39	17	56	15
	未回答	13	0	13	3
問6 市議会議員の報酬は月額32万1千円であることをご存知ですか	知っている	188	12	200	54
	知らない	141	28	169	46
	未回答	1	0	1	0
問7 市議会議員の報酬についてどう思いますか	高い	78	5	83	23
	適当である	157	14	171	46
	低い	32	2	34	9
	分からない	55	18	73	20
	未回答	8	1	9	2

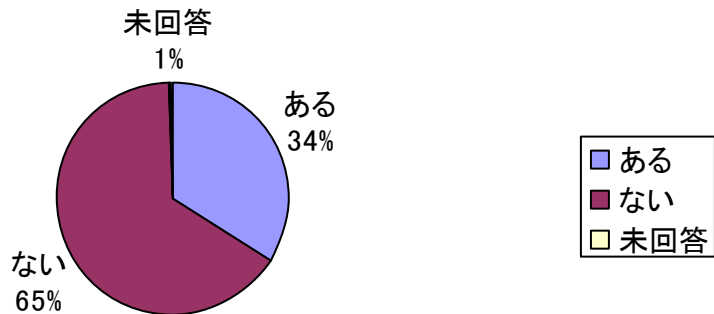
問1 市議会に関心はありますか



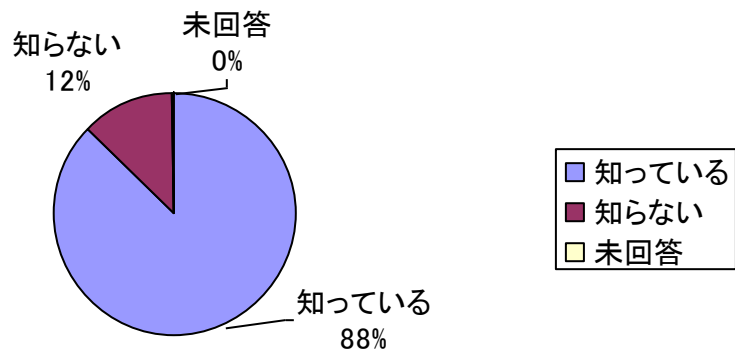
問2 市議会だよりを読んでいますか



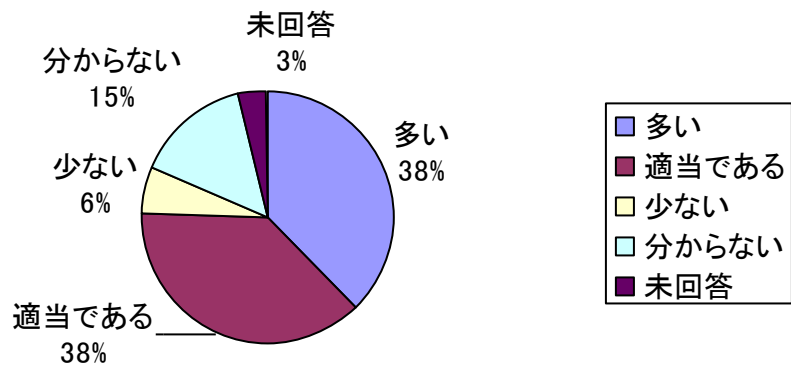
問3 市議会を傍聴したことがありますか



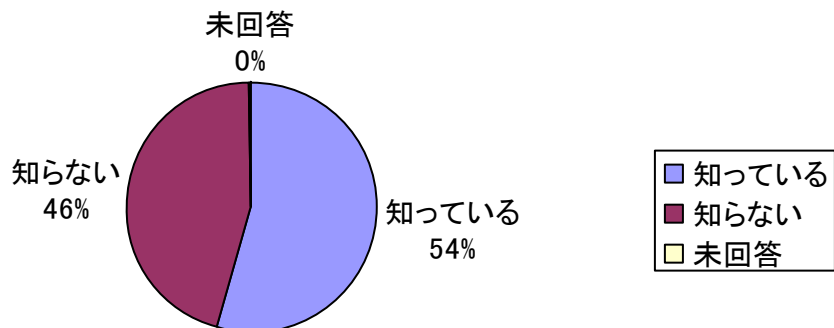
問4 市議会議員の定数は現在34人であることを知っていますか



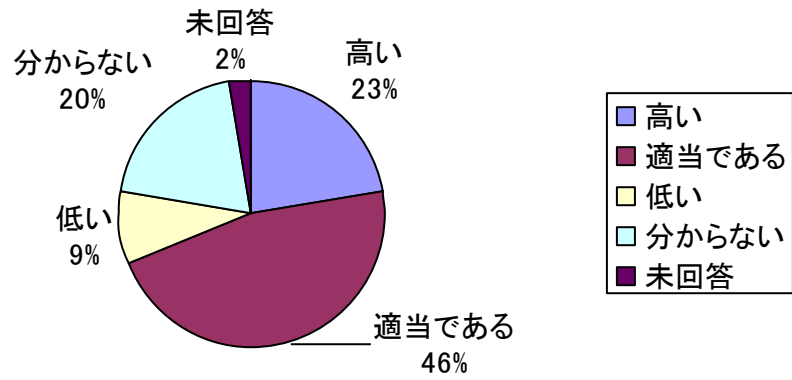
問5 市議会議員の人数をどう思いますか



問6 市議会議員の報酬は月額32万1千円であることを知っていますか



問7 市議会議員の報酬をどう思いますか



第4回市民と議員の懇談会アンケート（問8 議会に対する意見）

<p>①定数に関すること</p>	<p>●財政事情を考えた場合、定数削減はやむを得ないと思うが、大きく削減すべきではない。行政区数位は必要と思われる。（水沢 60 代男性）</p> <p>●市民の声が届く議会であって欲しい。（定数削減には反対 水沢 70 代男性）</p> <p>●議員定数について：「現状維持」を求めます。 考え方、理由◆奥州市の一体化の醸成は進んでおらず、削減により地域の課題も取り上げてもらえない。（資料P 1 以下同じ） ◆議員定数の問題は、単に行政の簡素化や合理化と同じ視点で議論すべきではない。削減は一体的なまちづくりを遅らせ市政発展に逆行する。 以上2点のほか、他の◆印2つを含む「現状維持」意見4点にもろ手を挙げて賛同します。（水沢 70 代男性）</p> <p>●議員定数は適当と思います。理由…選挙時には応援体制がバランス良く保たれていると思う。それにより住民の声が吸い上げられやすい。（水沢 70 代男性）</p> <p>●（問5）議員の人数、広く市民の声を聞き、市政に反映させるためにはもっと多くてもいいのではないか。 議会や議員は市長や執行部とは対等な立場で政策決定や予算執行に対し、市民目線で監視や評価を行ってください。市民の要望や意見をよく聞き、市政に反映させてください。市民のいのちとくらしを守る市政をお願いしたい。（水沢 60 代女性）</p> <p>●数値、資料など細かい内容は事前に市役所の事務方に聞いていただき、それをふまえて議会では市長及び執行側の考えを深くきいていただきたい。（江刺 50 代男性）</p> <p>●議員定数は、住民サービス本位に決定すべきである。（江刺 60 代男性）</p> <p>●問5の件、地区センター30あるとすれば、定員数も30名で良いのでは。（江刺 60 代）</p> <p>●社会情勢等から多少の削減もやむをえないと思う。（江刺 60 代男性）</p> <p>●議員定数の資料の中に、予算規模、個人の納税額等の資料もあればよいのではないか。若い女性の、子育てへの支援になっていない、若い子育て世代に配慮が欲しい。 （江刺 60 代男性）</p> <p>●議員定数に関しては全く興味ありません。（定数なりの議会運営があるでしょうから）そのことについてかんかんがくがく議論すること事態ムダ。現状、状況に応じたスピーディな行政、センスのある斬新な奥州市を望みます（教育にしても、医療にしても、スポーツ支援にしても）個人的にですが、葛巻の村おこしや花巻も見ていて楽しそうです</p>
------------------	---

<p>①定数に関すること</p>	<p>メディア効果もありますが、東国原宮崎県知事が引っ掻き回した？宮崎県はみていて面白かった。（江刺 40 代女性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多いとは思いますが、減らす時期としてはまだ早いか。旧区の代表者としてのバランスと市民の考え方を考える事を考えること。(江刺 60 代男性) ●（問 5）議員の人数、現在の 10%減、前回の選挙時定数削減しているので 1 割減とし、しばらくは変えない。（問 7）市全体の中で調整する。（胆沢 60 代男性） ●（問 5）議員の人数、28 人でよい。（胆沢不明男性） ●議員は減員すべきである。（胆沢 70 代男性） ●（問 5）議員の人数、34 人では議員活動で実際どうなのでしょうか。不足か余っているか。（衣川 50 代男性） ●報酬が高いほうが良いことは分かります。議員としての経費もかかります。考え方もあると思いますが、ヨーロッパ型の地方制度ではいかがでしょうか。オール奥州市議員に徹して活動すべきではないでしょうか。小さい地区のことを考えて定数を考えてください。（衣川 60 代男性） ●最低でも区から議員が出れるようになってほしい。（衣川 50 代男性）
<p>②報酬に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●活動しやすい態勢をつくるためにある程度の報酬アップは必要と思う。（水沢 70 代男性） ●南地区には、17 町内会があり、年間の報酬は 1 万円～5 万円です。年間の寄付や交際費は報酬の何倍もかかっています。各町内会、行政区を支えている多くの役員がいて、市の行政が成り立っているのではないのでしょうか。（水沢 70 代男性） ●議員報酬について：「増額」を求めます。 考え方、理由◆合併時の特別職報酬の協議の際に、当初新市特別職報酬等検討委員会が答申した案から 10%カットで議員報酬も決定したが、検討委員会が当初示した報酬の額に戻す。（資料 P 3）議員定数是非論の以前に、専門委員会から提起されていた一定の報酬額水準が存在するもののようなので、それが尊重されるべきことは自明のことと考えられます。 上記◆印案を支持します。（水沢 70 代男性） ●報酬、生活給与のために議員ならば、即議員をやめてほしい。（水沢 60 代男性） ●（問 7）議員の報酬、エ、わからない 但し、財政の悪化や市民の負担増が多くなっているなかで、どうなのか。 市民として理解できない結果もある。慎重に考えて欲しい。個人の都合だけと思われることもある。（水沢 60 代男性）

<p>②報酬に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●（問 7）議員の報酬 ア高い プロとアマ分け、2 段報酬制に。（江刺 70 代男性） ●（問 7）議員の報酬 ア高い →他の市町村を見てください。各地区での議員報告会を 3 ヶ月に 1 回くらい実施してほしいと思う。（江刺 70 代男性） ●県の労働者の最低賃金をご存知でしょうか？（江刺 60 代女性） ●議員報酬については、資料 P 4 にある「その他の意見」に賛同できます。“生活給”という考えにはなじみません。（江刺 70 代女性） ●議員報酬については、議員の年齢によって高い人、低い人がいると思いますので、丁度の人、足りない人、多い人がいると思います。私たち農家も年金で農家はやっていけません。もっともっと税金を安くして、生活を満たせるようなこれからにしてください。農家は一生働きずめです。（江刺 60 代女性） ●報酬は上げて良いと思います。それに伴って、地域（市民）のために頑張っていたきたいと思います。（江刺 60 代女性） ●報酬は政務調査費と合わせて議論して下さい。（江刺 60 代男性） ●報酬に見合う活動を期待。（江刺 70 代男性） ●報酬は、もっと多いほうが良いと思うが、現状ではやむを得ない。（前沢 60 代男性） ●報酬が少ないなら、他の高い給料の仕事を見つけてください。（小山 男性 60 代） ●市の将来を決めるリーダー的役割の議員、やる気、希望の持てる報酬（胆沢 60 代男性） ●財政的にも苦しいときでもあり、市民の賃金も下がっており、市職員の賃金も下げると聞きました。議員も痛みを伴うべきでは？議員数の削減は 30 人くらいに。（衣川 70 代男性） ●お金をかけない選挙をしてください。議員数は 30 人くらいがよい。（衣川 60 代男性） ●（問 7）議員の報酬、八幡平市は 271,000 円です。奥州市は市部で高い方から 5 番目です。つまり高いほうです。（衣川 50 代男性） ●（問 7）議員の報酬、基本的には生活給の額。（衣川 50 代男性）
<p>③定数・報酬の両方に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●奥州市全体の事を考える議員になれ（議員定数、報酬は現状でよい）（水沢 60 代男性） ●定数、報酬については、もっと議論を深めてまとめてほしい。（水沢 70 代男性）

<p>③定数・報酬の両方に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●報酬を少なくして定数を増やすこと。22万1千円、40人とか。(水沢 60代男性) ●米国、ヨーロッパ等先進国の例はどうか。国内の比較だけでなく示してほしい。 (江刺 60代男性) ●人口比から見れば、議員定数は削減すべきである。報酬額を生活給と考えるのは問題がある。(江刺 60代男性) ●これから関心を持ちたい。(江刺 60代女性) ●人数を削減し、報酬を上げた方が若くて良い人材が集まるのでは。500～600万円/年(江刺 60代男性) ●人数、報酬に見合った活動をしてもらえればよい。(前沢年代不明男性) ●定数を減らし報酬を下げる。(衣川 50代男性)
<p>④市民懇談会(議会報告会)に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●議員の活動報告を3ヶ月くらい毎に市民に公開して欲しい。(水沢 60代男性) ●これからもこのような懇談会を開いてください。(水沢 40代男性) ●もっと多くの報告会、意見を聞く機会をもつべきだ。(水沢 60代男性) ●市民との懇談会の回数を増やした方がよいと思う。(水沢 70代男性) ●もっと市民が集まれば良いかなと思います。(江刺 60代女性) ●懇談会を活発に行うことは良いことだが、参加者の顔ぶれは変わらない。(江刺 40代男性) ●若年、女性が参加しやすいような工夫をしてほしい。(江刺 40代男性) ●議員は地区への報告を多く行って欲しい。(江刺 60代男性) ●懇談会で話したいことはたくさんありましたが、話す気がなくなる懇談会に感じました。(江刺 40代男性) ●懇談会の回数を増やしてほしい。(前沢 60代男性) ●議員が市民と懇談することはたいへん良いことである。今後もこのような形で開催してほしい。議員は地元のことのみを考えるのではなく、全議員が全地区の実態を把握するような活動をしてほしい。(前沢 60代男性) ●はじめて出席し、勉強になりました。(前沢 60代男性) ●今日は参加してよかったと思います。次回も有意義な話を聞かせてください。(小山 男性 40代) ●質問に対して適切に説明されました。生の議員の声を聞き刺激を得ました。(衣川 70代男性)

<p>⑤政務調査費に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民のため議会活動費(政務調査費)使えるよう増額する。(水沢 70 代男性) ●地域エゴをなくす活動の体制作りを考える。政務調査により全域に活動を展開する方法—議会提案はできるか、できるように希望！*交付金の増額前提。(水沢 70 代男性) ●政務調査費の使途が適当なのかどうか内部でどう監査しているのか公表すべきではないか。(衣川 50 代男性)
<p>⑥意見、要望等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●当市の議員の方は立派に活動していると思います。なお、そろそろ市政に対する大発展を期待しております。(水沢 70 代男性) ●市民から行政のチェック機関として、選出された議員として本当に機能しているか疑問である。市当局の追認機関ではなく、市長に対等であるべき議会が、市当局の提案を追認しているとしか思われぬ。行財政改革は単に議員の定数削減だけではない。市当局のムダ使い(大型公共事業等)をチェックして本当の行財政改革をしてもらいたい。議会は議員として自身が本当に市民のために頑張っているのかどうか判断する必要があるのではないか。市民の為に頑張っているのであれば減らす必要がないのではないか。(水沢 70 代男性) ●努力に感謝します。更に市民の幸福をめざして、着実に努力をお願いします。(水沢 70 代男性) ●市民の強い要請、請願に臨み、反対するときがあるが、もう少し市民の側に立った態度を示してほしい。(水沢 60 代男性) ●議員活動が見えない。質問には自分の思いを出してほしい。(水沢 60 代男性) ●高い見識を持った人が選出されるべきです。(水沢 70 代男性) ●傍聴したくなるような議会にしてほしい。(水沢 60 代男性) ●社会資本の整備を中心に、産業を盛んにするための県内本線沿いの市に引けをとらない市政をお願いいたします。(水沢 70 代男性) ●市議会だよりはあまり金をかけない作り方にすべき。研修出張が多いようであるが生かされているのか大いに疑問。(水沢 70 代男性) ●市全体での視点で活動を期待したい。(水沢 60 代男性) ●地域からの議員が必要である。黒石地区を担当してくれる議員があれば良いと思う。(水沢 70 代男性) ●地域、党派をこえてがんばっていただきたい。(黒石地区には議員が 0 です。さまざまの壁を越え、黒石の振興に協力を。(水沢 70 代男性) ●商業以外の産業の発展に力を入れてほしい。(水沢 70 代男性)

⑥意見、
要望等

- 議会の様子広く周知できないか。(不明 60 代男性)
- 地区センターを通して行うことにします。(水沢 60 代男性)
- 働かない議員はいらない。(江刺 50 代男性)
- 以前に区長推薦の有り方について地元議員を通じて要望しようと何度も議員宅に訪問し、相談を続けたことがあります。始まり頃は前向き対応であったが、中頃から前向きから応答がほとんどでない対応となりました。古くなるとマンネリ化してきたのかと思いました。(江刺 70 代男性)
- 市の執行部が勝手な事をした場合は議会で意見を言えるようにして欲しい。(江刺 60 代男性)
- 停滞している経済状況等を打破するためにも、ILC 誘致について、もっともっと広報活動を活発化してはどうか。(江刺 60 代男性)
- 少子高齢化対策を考えてほしい。(江刺 70 代男性)
- 合併による弊害だと思う。もっと市民のために頑張ってもらいたい。(江刺 60 代男性)
- 通年議会を目指すべき。(江刺 60 代男性)
- 私はひそかに本庁舎を江刺に移せないかと考えています。現在の本庁舎の不便(設備、駐車場等々)さを考えただけでも価値があると思います。(江刺 60 代男性)
- 昨今の状況は、高齢者時代の中で農業問題、雇用対策(若者の職場確保)については急務が肝要と思う。どうぞ、農家の現実に重大なことに目を向けてほしい。24 年度より国保税の増額に驚いております。(江刺 70 代男性)
- わいわいネットで放送される議会中継の映像が暗い。(江刺 60 代男性)
- 地元振興の為、大いに活躍してほしい。(江刺 60 代男性)
- 米里からも議員が出てほしい。(江刺 60 代男性)
- 財政がきびしい中ですので収入の面を考えてください。例:空家があり家屋敷課税をすとか・・・空室の人は都会で良生活。犬の税をきびしくすとか、3頭もいるのに1頭分でごまかしている等々。(江刺 70 代男性)
- しっかりやれ。(江刺 70 代以上男性)
- 人口増に向かって考えてみる事が重要。
市税増、歳費の増に対する対策を追求すべきである。(江刺 70 代以上男性)
- 原発事故にかかる放射能汚染対策について、行政と議会がタックを組んでほしい。
一般的に牧草地等の対策はいろいろ議論されているか。
一般家庭の自家栽培、自給自足の分野にも目を向けて、どのような対策

⑥意見、
要望等

- 処理をすべきか指針を示して欲しい。(江刺 70 代以上男性)
- 市民の声を受け止めてくれて嬉しく思っています、私の友達が喜んでいました。(交通、バス に関して) (江刺 60 代女性)
 - 想像力をもって活動すべきである。(江刺 40 代男性)
 - 副議長は、議長ではないが同等の位置づけをすべき。(江刺 50 代男性)
 - 地元若年層が残れるような仕組みが必要です。もっと若者が興味を持つ市政にしないと活性化にならないと思う。(江刺 40 代男性)
 - 市政発展に向け頑張っておられることに感謝申し上げることはもとよりです。特にも議会だよりについては市民に分かりやすく記載されており、議会の様子が分かる。(江刺 50 代男子)
 - 借金を減らしてください。次世代に残すのはイカンです。(江刺 60 代男性)
 - 東北油化によるカラスの増加による作物の災害を考えてほしい。(江刺 60 代男性)
 - 資金がないのに江刺総合支所と合庁の交換の話が出ている様ですが、本所(市)が古くなっていますが、交換をして跡地に新本所を新築なさるのですか。(江刺 60 代男性)
 - 地方持ち回り議会を開催されたい。(前沢 70 代男性)
 - ぜひナイター議会を開催していただきたい。(日中では仕事で傍聴できない。(前沢 60 代男性)
 - 水沢南、小山、笹森地区の中学校の学区編成の検討をしてほしい。(前沢年代不明男性)
 - 入札制度に不備が見られる。(前沢 60 代男性)
 - 若い人が参加するような行政をしてほしい。(前沢 70 代女性)
 - 議会活動のPR、市議会だより大変良い。(前沢 70 代男性)
 - 小学校が統合するので、跡地の活用。放射能問題で、除染作業を急いでほしい。(前沢 40 代女性)
 - 本当にレベルの高い議員になってほしい。(小山 男性 60 代)
 - 一般質問の人数が毎回多い、また、内容も重複しているので調整が必要ではないか。(衣川 60 代男性)
 - 今思うに、合併して良かったのか？分離したいと思います。(衣川 60 代男性)
 - I L Cについて、積極的な動きを。(衣川 70 代男性)
 - 常任委員会の活動が少ないと思われる。(衣川男性 70 代)
 - 奥州市全体から見た意見、質問をしてください。(衣川男性 50 代)

まとめ

(1)各班ごとの意見、要望数

班	会 場	意見、要望件数
第1班	南股地区センター	14
	南都田地区センター	11
	姉体地区センター	15
	真城地区センター	15
	黒石地区センター	14
	江刺総合支所（岩谷堂）	16
第2班	北股地区センター	16
	若柳地区センター	22
	玉里地区センター	17
	江刺愛宕地区センター	19
	佐倉河地区センター	20
	前沢地区センター	21
第3班	広瀬地区センター	15
	田原地区センター	13
	衣川地区センター	10
	生母地区センター	8
	藤里地区センター	12
	常盤地区センター	14
第4班	伊手地区センター	12
	梁川地区センター	8
	衣里地区センター	5
	小山地区センター	11
	古城地区センター	18
	水沢南地区センター	17
第5班	胆沢愛宕地区センター	12
	白山地区センター	8
	羽田地区センター	8
	水沢地区センター	20
	米里地区センター	13
	稲瀬地区センター	11
合 計		415

(2)分野別の主な意見、要望等

テーマ、各分野別	件数
「議員定数」「議員報酬」にかかる意見、要望等	228
総務常任委員会にかかる意見、要望等	54
教育厚生常任委員会にかかる意見、要望等	24
産業経済常任委員会にかかる意見、要望等	19
建設環境常任委員会にかかる意見、要望等	35
議会に対する意見、要望等・その他	55
計	415